

# 令和2年度 第2回 北海道渋滞対策協議会

令和3年3月24日

1.	これまでの検討経緯	2
2.	主要渋滞箇所現状	8
3.	議論いただく事項	11
4.	R2 主要渋滞箇所の対策内容の報告	13
5.	R3 主要渋滞箇所の対策・検討内容の議論	22
6.	道路利用者会議意見箇所への対応	29
7.	札幌新道 札幌西IC～新川IC周辺の渋滞対策	40
8.	新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針	43
9.	今後のスケジュール	55

# 1. これまでの検討経緯

## ■ これまでの検討経緯

H24年度

『主要渋滞箇所の特定』

H24 第1回 協議会の開催(H24.6.29)  
H24 第2回 協議会の開催(H24.7.13)  
渋滞に関する意見募集(H24. 11. 16~H24. 11. 29)  
H24 第3回 協議会の開催(H24. 12. 26)  
主要渋滞箇所の公表(H25. 1. 24)

H25年度

『渋滞対策の基本方針の検討』

H25 第1回 協議会の開催(H25. 9. 27)  
地域の渋滞の現状、渋滞対策の基本方針の検討

H26年度～

『渋滞対策の推進』

渋滞対策の基本方針の公表(H26. 6. 13)  
H26 第1回 協議会の開催(H27. 1. 21)  
主要渋滞箇所のモニタリング・要因分析・評価・賢く使うの認識共有 等

H27年度～

『対策効果の評価』

H27 第1回 協議会の開催(H27. 9. 17)  
主要渋滞箇所の進捗状況、主要渋滞箇所見直しの考え方 等  
H27 第2回 協議会の開催(H27. 12. 9)  
道内主要都市圏の渋滞WGの検討・取組状況、主要渋滞箇所の解除 等  
H28 第1回 協議会の開催(H28. 7. 26)  
主要渋滞箇所の進捗状況、主要渋滞箇所の解除 等  
H28 第2回 協議会の開催(H29. 2. 20)  
主要渋滞箇所の追加  
H29 第1回 協議会の開催(H29. 7. 27)  
主要渋滞箇所の進捗状況、主要渋滞箇所の解除 等  
H30 第1回 協議会の開催(H30. 7. 31)  
主要渋滞箇所の現状、主要渋滞箇所の解除、主要渋滞箇所解除サイクルの見直し 等  
H30 第2回 協議会の開催(H31. 2. 26)  
各都市圏WGの取組状況報告、主要渋滞箇所の対策・検討内容の議論、バス協会・トラック協会意見箇所確認結果報告 等  
R1 第1回 協議会の開催(R1. 8. 8)  
主要渋滞箇所の現状、主要渋滞箇所の解除 等  
R1 第2回 協議会の開催(R2. 3. 25)(書面開催)  
各都市圏WGの取組状況報告、主要渋滞箇所の対策・検討内容の議論 等

R2 第1回 協議会の開催(R2. 9. 14)(書面開催)  
主要渋滞箇所の現状、主要渋滞箇所の解除 等

**R2 第2回 協議会の開催(R3. 3. 24)(書面開催)**  
主要渋滞箇所の対策・検討内容の議論、バス協会・トラック協会意見箇所確認結果報告 等

## ■ 渋滞対策の基本方針

- 北海道における各主要渋滞箇所の渋滞対策については、関係機関が連携し渋滞要因分析、ソフト・ハードを含めた対策の検討、取組の実施及び評価を行う。
- 主要渋滞箇所のモニタリング等による検証を行い、必要に応じて主要渋滞箇所や基本方針について、随時見直しを行う。

### 渋滞対策の基本方針策定

#### Plan(計画) 主要渋滞箇所の対策立案

- 各主要渋滞箇所について、道路管理者や警察等が連携して検討箇所の抽出や渋滞要因の分析、ハード・ソフト両面からの具体的な対策を立案
- 主要渋滞箇所の対策検討にあたっては、各道路管理者が渋滞状況、対策の方針、今後の対策、対策案の概要を整理

#### Do(実行) 円滑な渋滞対策の実施

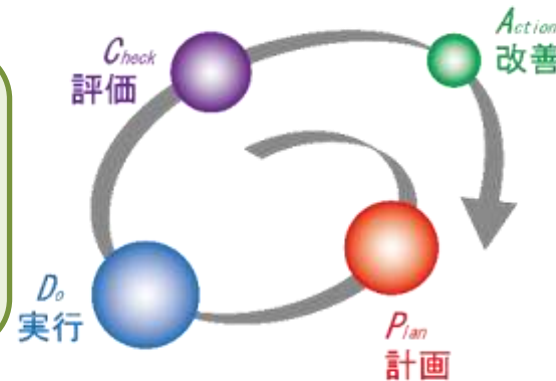
- 各道路管理者が個別に立案した対策に基づき対策を実施
- 他機関の実施対策等との連携・調整を図りながら対策を実施

#### Check(評価) モニタリング等による検証・評価

- 最新の交通データに基づく渋滞状況の確認
- ・一定期間選定基準以下 ⇒ 主要渋滞箇所の見直し
- ・対策終了後、一定期間選定基準以下 ⇒ 渋滞対策の終了
- ・対策終了後、選定基準以上 ⇒ 新たな渋滞対策の検討
- ・主要渋滞箇所以外の箇所が選定条件以上 ⇒ 主要渋滞箇所の追加

#### Action(改善) 主要渋滞箇所の見直し

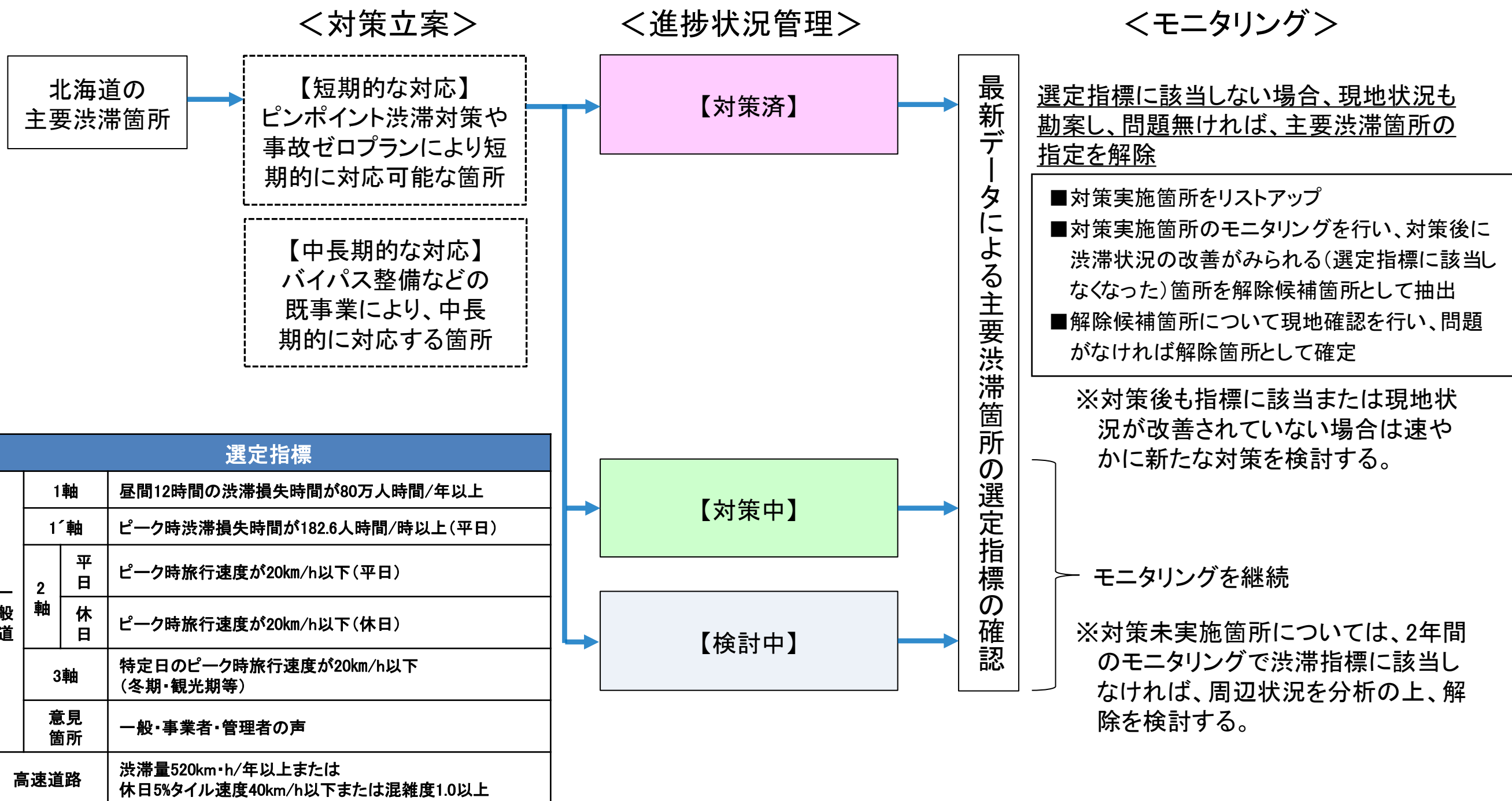
- モニタリング等による検証・評価を踏まえ、主要渋滞箇所の見直し案を作成
- 北海道渋滞対策協議会において、主要渋滞箇所の見直しを議論



P・D・C・Aサイクルの実現による確実な渋滞対策の実施

## ■ 主要渋滞箇所見直しの考え方

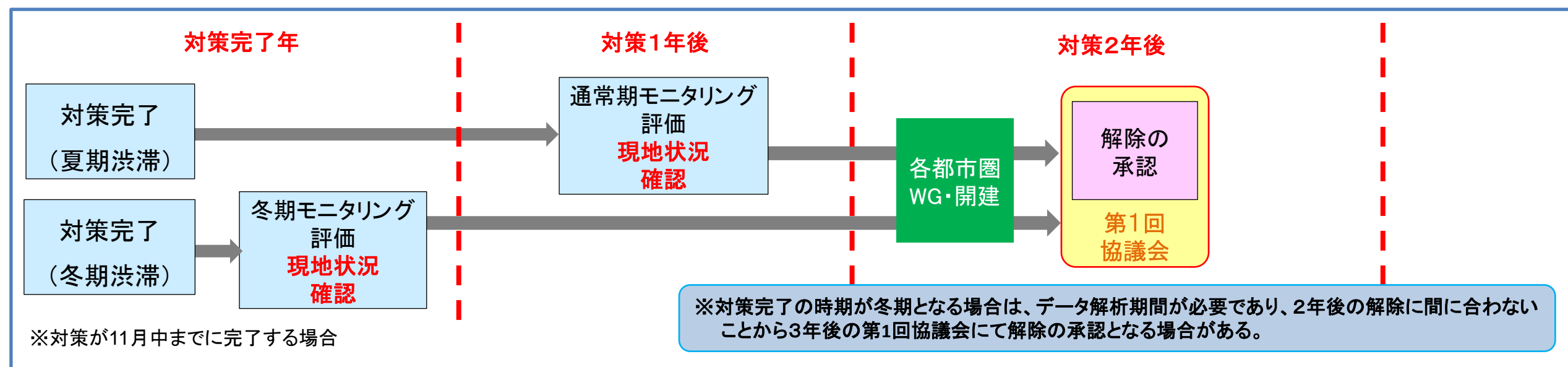
- 渋滞対策は、ピンポイント渋滞対策や事故ゼロプランによる短期的な対策、バイパス整備などによる中長期的な対策の双方について検討する。
- 対策実施後、最新データによるモニタリングを行い、選定指標に該当しない場合は、現地状況も確認の上、主要渋滞箇所の指定を解除する。
- 対策実施後も指標に該当または現地状況が改善されていない場合は速やかに新たな対策を検討する。



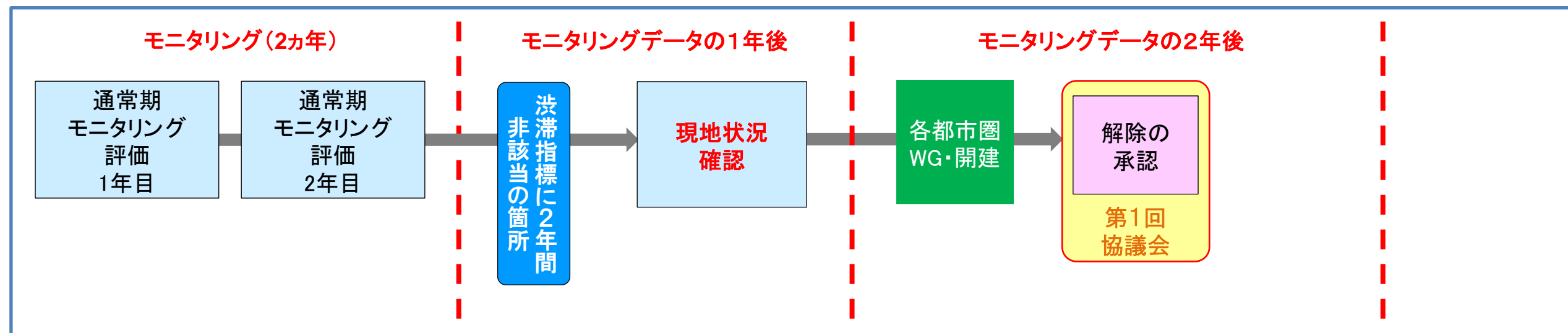
## ■ 主要渋滞箇所見直し(解除)のサイクル

- 対策実施箇所の主要渋滞箇所見直し(解除)のサイクルは、H30第1回協議会にて、新たな解除サイクル(対策実施から解除までのサイクルは最短2年)が承認され、現在は、このサイクルで運用している。
- また、H30第1回協議会における主要渋滞箇所の解除サイクルの見直しにおいて、対策未実施箇所についても、2年間のモニタリングで渋滞指標に該当しなければ、周辺状況を分析の上、解除を検討できることになっている。
- ⇒対策未実施箇所の主要渋滞箇所の解除は、H30およびR1の2カ年のプローブデータによるモニタリングから運用を開始する。
- ⇒年度末から翌年度にかけて、前年度および当該年度のデータによるモニタリングを実施し、2年間渋滞指標に該当しない場合に、翌年度中に周辺状況の分析や現地調査等を行い、その翌年度の第1回協議会にて解除を審議する。

### ■ 対策実施箇所に関する主要渋滞箇所解除サイクル(H29年度対策完了箇所より適用)



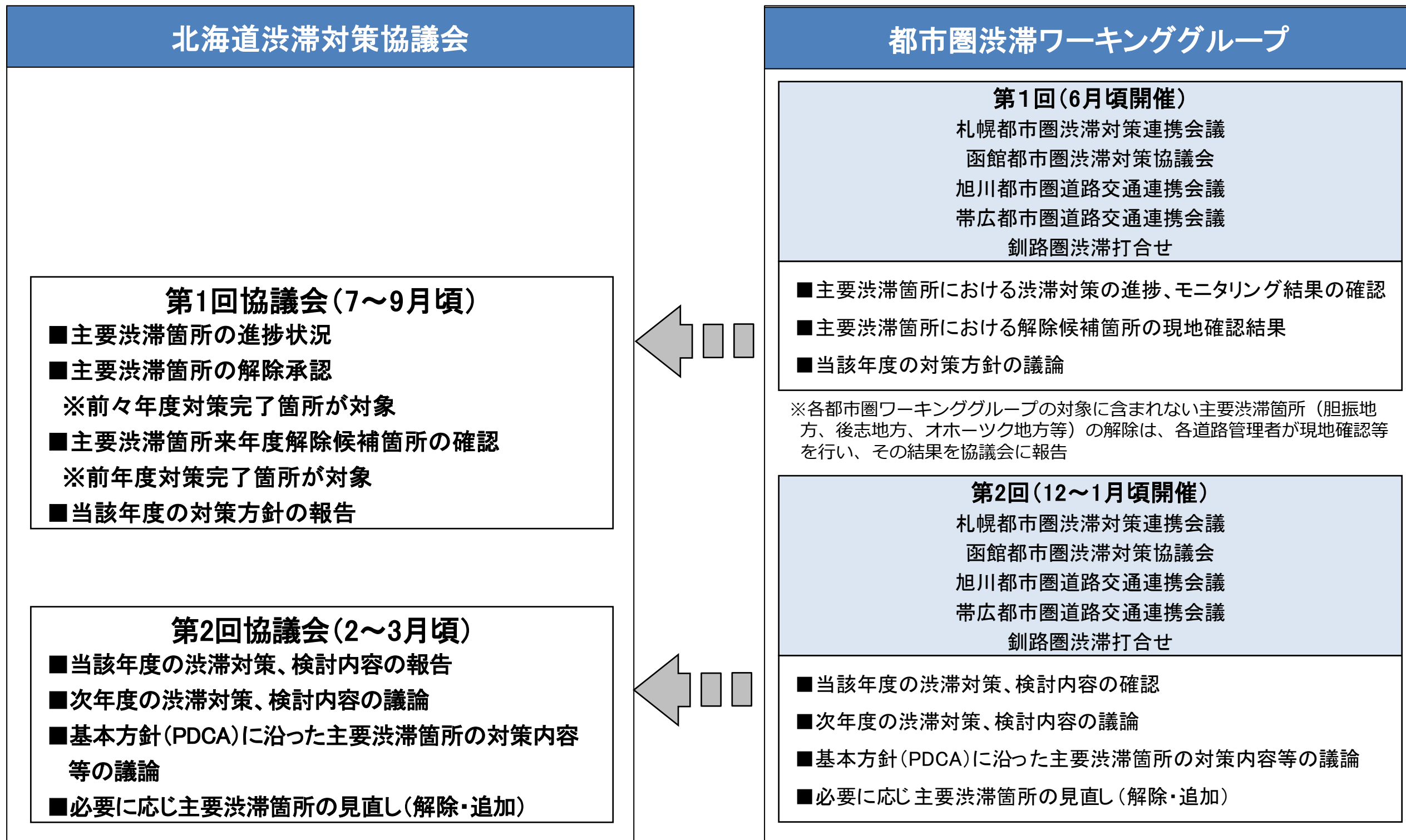
### ■ 対策未実施箇所に関する主要渋滞箇所解除サイクル(H30・R1の2カ年のプローブデータによるモニタリングから適用)





## ■ 協議会の実施サイクル

- 基本方針(PDCA)に沿った主要渋滞箇所の対策内容等の議論の機会を増やすため、H30年度より、渋滞対策協議会および都市圏渋滞ワーキンググループの開催回数をそれぞれ年2回に設定。
- 第1回協議会においては、主要渋滞箇所の解除の承認、および次年度の解除候補箇所の確認が議論の中心。
- 第2回協議会においては、当該年度の渋滞対策と来年度の渋滞対策が議論の中心。



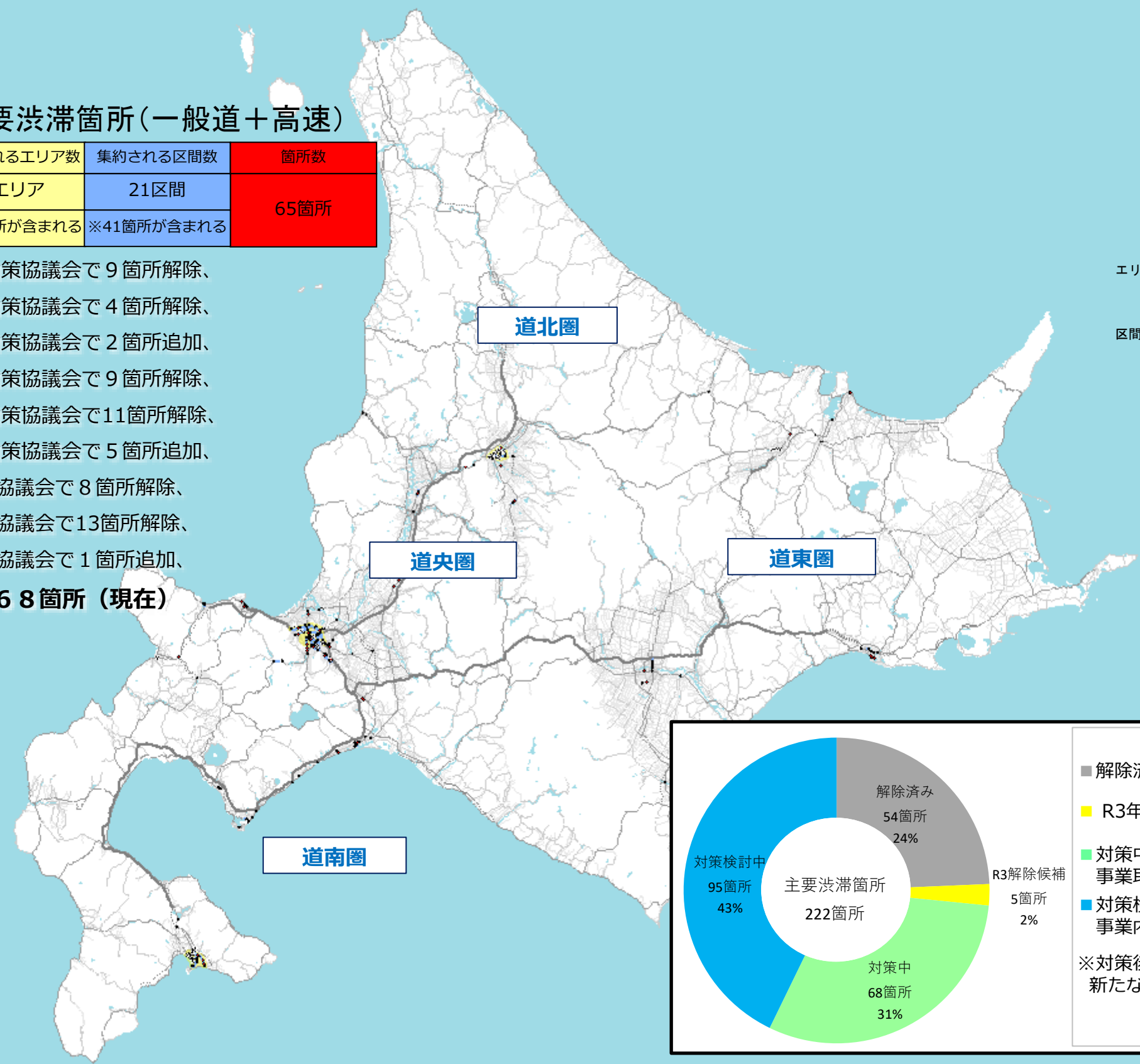


## 2. 主要渋滞箇所現状

○北海道における主要渋滞箇所は、現在168箇所(今年度までの解除済み54箇所を含めると222箇所)。  
 ○168箇所のうち、5箇所はR3年度解除候補箇所、68箇所は対策中、95箇所は対策検討中。

北海道 主要渋滞箇所(一般道+高速)			
主要渋滞箇所数	集約されるエリア数	集約される区間数	箇所数
168箇所 (54箇所解除)	4エリア	21区間	65箇所
	※62箇所が含まれる	※41箇所が含まれる	

※H27第2回渋滞対策協議会で9箇所解除、  
 H28第1回渋滞対策協議会で4箇所解除、  
 H28第2回渋滞対策協議会で2箇所追加、  
 H29第1回渋滞対策協議会で9箇所解除、  
 H30第1回渋滞対策協議会で11箇所解除、  
 H30第2回渋滞対策協議会で5箇所追加、  
 R1第1回渋滞対策協議会で8箇所解除、  
 R2第1回渋滞対策協議会で13箇所解除、  
 R2第2回渋滞対策協議会で1箇所追加、  
 214箇所(当初)⇒**168箇所(現在)**

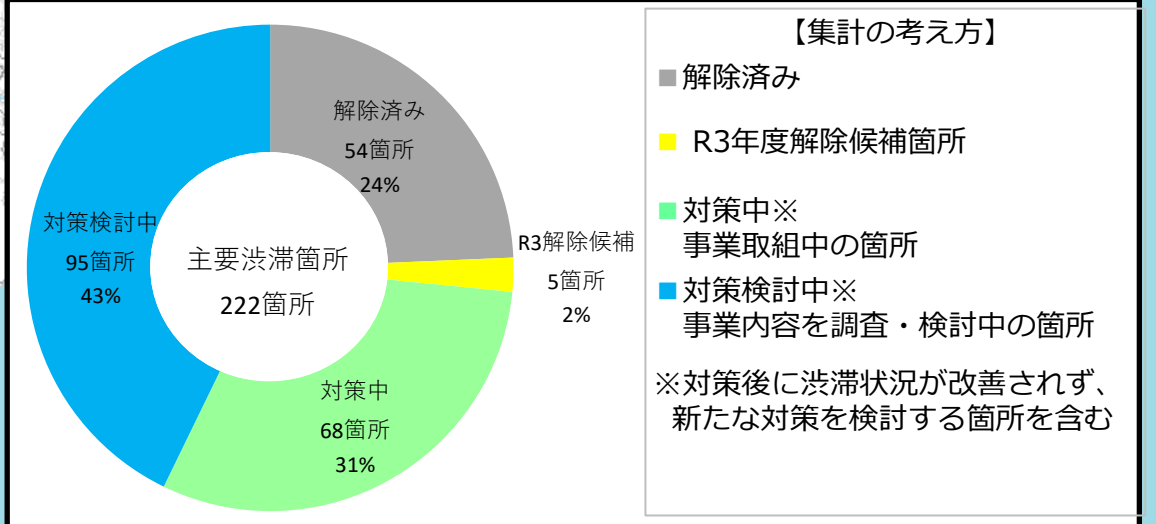


**凡例**

<主要渋滞箇所>  
 ● 箇所  
 ✕ 解除箇所  
 区間  
 エリア

<道路種別>  
 高速道路  
 一般国道  
 道道  
 市町村道

エリア：都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域  
 区間：交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

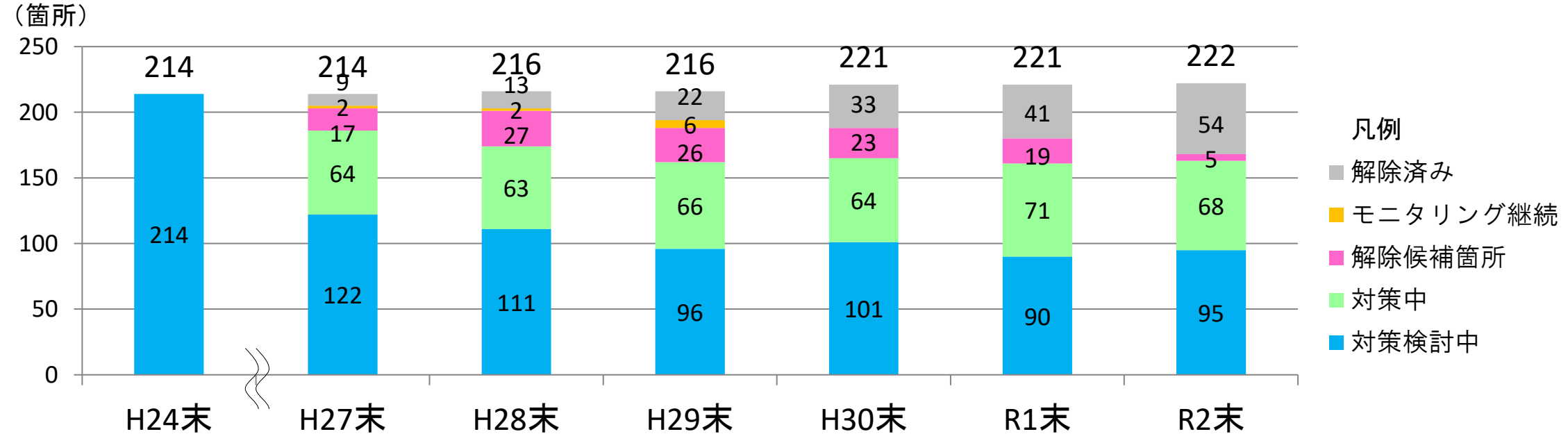


○主要渋滞箇所は、H24年度に214箇所選定され、R2年度までに54箇所が解除(H27:9箇所、H28:4箇所、H29:9箇所、H30:11箇所、R1:8箇所、R2:13箇所)、8箇所が追加(H28:2箇所、H30:5箇所、R2:1箇所)。

＜北海道の主要渋滞箇所の箇所数・対策状況の推移＞

時点	主要渋滞箇所の解除・追加	箇所数合計	対策状況					
			うち解除済	うち未解除	うちモニタリング継続*	うち解除候補箇所	うち対策中	うち対策検討中
H24年度末	主要渋滞箇所の特定	214						
H27年度末	9箇所解除、2箇所モニタリング継続(H25対策完了箇所)	214	9 (+9)	205	2 (+2)	17	64	122
H28年度末	4箇所解除(H25対策完了箇所(冬期)) 2箇所追加(交通状況の変化による対応)	216 (+2)	13 (+4)	203	2	27	63	111
H29年度末	9箇所解除、4箇所モニタリング継続(H26対策完了箇所)	216	22 (+9)	194	6 (+4)	26	66	96
H30年度末	11箇所解除(H27対策完了箇所) 5箇所追加(道路利用者との連携強化による対応)	221 (+5)	33 (+11)	188	-	23	64	101
R1年度末	8箇所解除(H28,29対策完了箇所)	221	41 (+8)	180	-	19	71	90
R2年度末	13箇所解除(H30対策完了箇所) 1箇所追加(道路利用者との連携強化による対応)	222 (+1)	54 (+13)	168	-	5	68	95

※：R2年度末の解除済(+13)については、R2年度第1回北海道渋滞対策協議会で承認を受けたものである。  
 ※：H30年度までは、対策後も指標に該当または現地状況が改善されていない箇所を「モニタリング継続箇所」（次年度以降もモニタリングを継続し、必要に応じて追加対策を検討）として整理していたが、「平成30年度 第2回 北海道渋滞対策協議会」において、主要渋滞箇所の見直しの考え方を議論し、このような箇所は「速やかに別途対策を検討」することに変更  
 ⇒H30年度末以降の集計は、「モニタリング継続箇所」として整理していた箇所を「対策中」または「対策検討中」に変更



### 3. 議論いただく事項

## ＜議論いただく事項＞

- 1) R2 主要渋滞箇所対策内容の報告
- 2) R3 主要渋滞箇所対策・検討内容の議論
- 3) 道路利用者会議意見箇所への対応
- 4) 札幌新道 札幌西IC～新川IC周辺の渋滞対策
- 5) 新しい生活様式における交通状況を踏まえた渋滞対策方針

## 4. R2主要渋滞箇所対策内容の報告



## ■ R2年度対策完了箇所

No.	協議会・地区	路線	交差点名	渋滞要因	対策内容	備考
149	札幌都市圏WG	一般国道36号×厚別東通（市道）	美しが丘1-9交差点	右折車両による後続直進車両の進行阻害	右折車線の増設（1→2車線）	P15に詳細掲示
151	札幌都市圏WG	一般国道36号×道道仁別大曲線	大曲中央2交差点	左折滞留車両による後続直進・右折車両の進行阻害	左折滞留長の延伸（30→85m）	P16に詳細掲示
54 55 1201 1202 1209	函館都市圏WG	一般国道227号×道道函館上磯線 一般国道5号×市道南昭和通 一般国道278号×道道函館上磯線 道道函館南茅部線×道道函館上磯線 道道赤川函館線×本通富岡通（市道）	追分交差点 南昭和交差点 01302780020交差点 湯川町2丁目交差点 富岡交差点	環状道路（道道函館上磯線）に交通が集中	函館新外環状道路（赤川IC～函館空港IC）整備	P17に詳細掲示
1207	函館都市圏WG	道道函館南茅部線×道道五稜郭公園線	五稜郭公園入口交差点	商業施設が多く立地していることで交通が集中	導流線設置 注意・誘導看板設置	P18に詳細掲示
40 42 43 44 45 46 47 1001	室蘭地区	道道樽前錦岡線×道道苫小牧環状線 一般国道36号×道道苫小牧環状線 一般国道36号×道道苫小牧停車場線 一般国道36号×道道樽前錦岡線 道道上厚真苫小牧線×道道苫小牧環状線 一般国道36号×緑町二条通（市道） 一般国道36号×明野西一条通（市道） 一般国道36号×一般国道276号	ときわ町三交差点 新開町1丁目交差点 表町1交差点 西インター入口交差点 01602590100交差点 三光町交差点 明野新町2交差点 元中野町3交差点	広域交通と市街地内交通が輻輳	苫小牧中央IC整備	P19に詳細掲示
51	室蘭地区	一般国道36号×道道室蘭環状線	鷲別町1交差点	右折滞留車による渋滞が発生	右折車線延伸・新設・カラー舗装	P20に詳細掲示
1002 1003	室蘭地区	一般国道276号×王子通（市道） 一般国道276号×緑町二条通（市道）	一般国道276号×市道王子通 音羽町2交差点	6車線から2車線になるボトルネック箇所により交通が集中	緑跨線橋4車線化、右折車線設置	P21に詳細掲示

## 【事例】北海道開発局による渋滞対策

- 主要渋滞箇所No.149美しが丘1-9交差点では、国道36号北広島側において、右折滞留車両による後続直進車両への障害が発生している。
- 現状、左折車線が2車線設置されているが、左折需要は低く、目立った混雑は見られない。一方で、札幌新道延伸に伴い、右折需要が高まり、右折滞留長が不足している。
- 渋滞対策として、右折車両による直進車両への進行障害解消を目的に、車線運用を見直し、右折車線を現在の1車線から2車線に増設。

### 一般国道36号×厚別東通(市道) うつくしがおか (美しが丘1-9交差点)

### 右折車線の増設(1→2車線)

#### 《位置図》

主要渋滞箇所番号149  
2軸(平日)に該当



#### 《広域図》



#### 《説明図》

**対策前**

右折車両による後続直進車両の進行障害

**対策後**

右折車線を1車線から2車線に増設

※左折レーンは2車線から1車線へ減らすとともにレーン長を延伸

**【断面図】(至北広島側)**

3,500 2,750 2,750 3,250 3,250 3,000 3,250 3,250 4,500

30,750

**【断面図】(至北広島側)**

3,500 2,750 3,250 3,250 3,000 3,000 3,000 3,000 4,500

30,750

右折レーンの増設

通常交通 : 右折交通



【事例】北海道による渋滞対策

- 主要渋滞箇所No.151大曲中央2丁目交差点では、道道仁別大曲線側において、左折滞留車両による後続直進・右折車両への阻害が発生している。
- 渋滞対策として、左折車両による後続車両への阻害解消を目的に、左折滞留長を延伸。

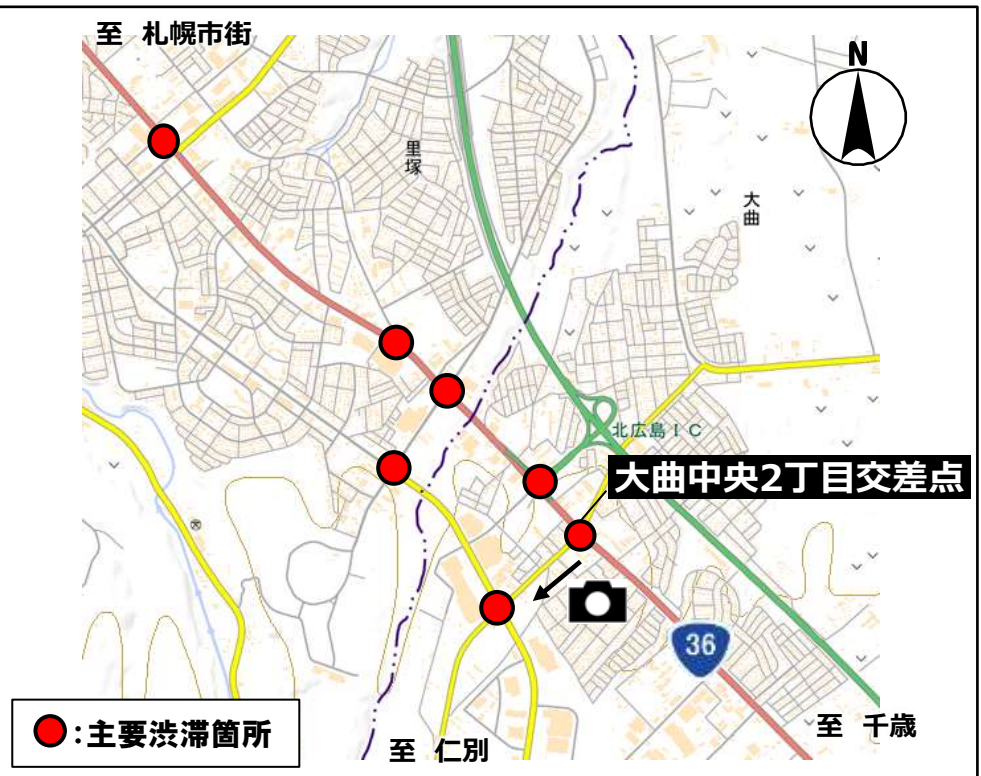
**一般国道36号×道道仁別大曲線**  
おおまがりちゅうおう  
**(大曲中央2交差点)**

**左折滞留長の延伸(30→85m)**

《位置図》



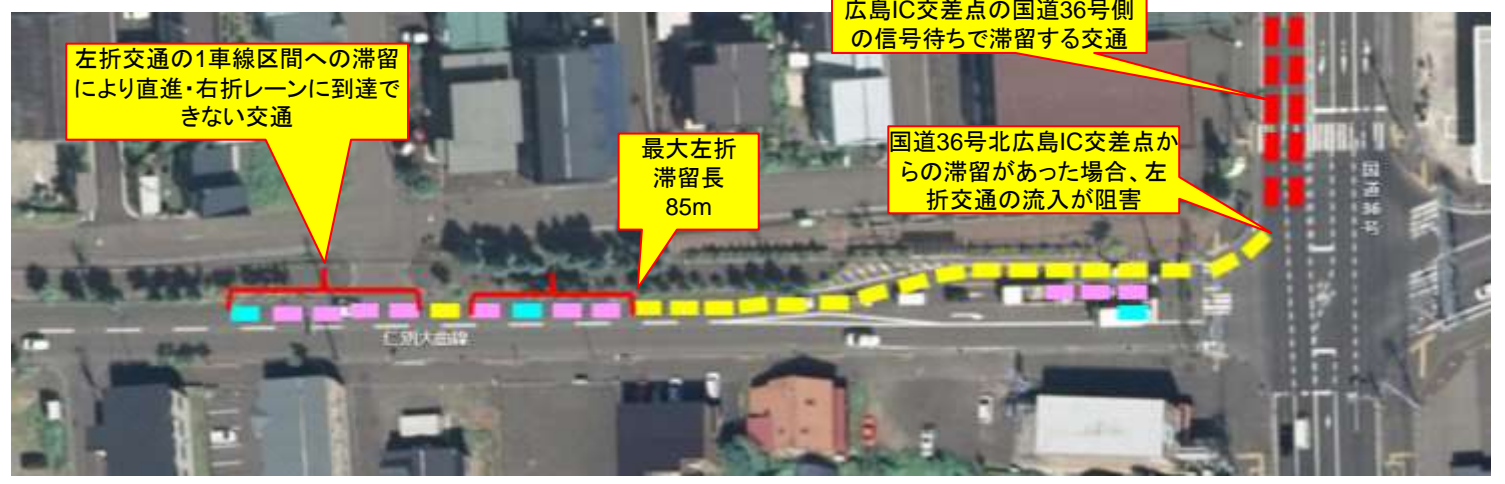
《広域図》



《説明図》

対策前

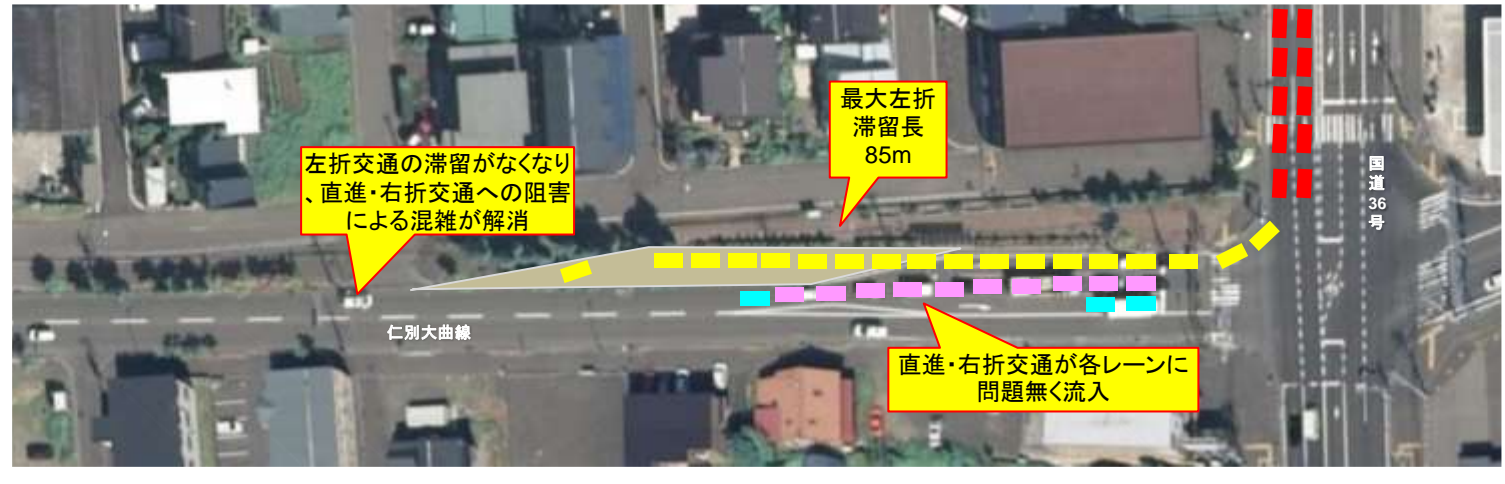
左折車両による後続車両の進行阻害



- 凡例
- 左折車両
  - 直進車両
  - 右折車両
  - 国道36号赤時間滞留車両

対策後

左折滞留長の延伸





【事例】北海道開発局による渋滞対策予定

道路利用者会議意見箇所(トラック協会No.52、バス協会No.13,14)

- 主要渋滞箇所No.54、55、1201、1202、1203、1204、1205、1209では、函館市内を通過する交通の集中により、旅行速度が低下し、渋滞が発生している。
- 函館新外環状道路(赤川IC～函館空港IC間)の開通により、旅行速度の向上が期待され、渋滞の解消が見込まれる。

一般国道227号×道道函館上磯線 (追分交差点) など

函館新外環状道路(赤川IC～函館空港IC)整備

《位置図》

主要渋滞箇所番号54 意見箇所、55 意見箇所、1201 2軸(平日)、1202 2軸(平日)、1209 意見箇所に該当

北海道  
函館新外環状道路 (赤川IC～函館空港IC)



《説明図》

対策前 環状道路(道道函館上磯線)に交通が集中

● : 主要渋滞箇所

函館空港道路 H27.3.14開通 L=2.4km

函館上磯線に交通が集中し、複数の主要渋滞箇所が存在

《広域図》

● : 主要渋滞箇所

No.55 南昭和交差点  
No.54 追分交差点  
No.1205 美原3丁目交差点  
No.1204 鍛冶交差点  
No.1209 富岡交差点  
No.1203 日吉町3丁目交差点  
No.1202 湯川町2丁目交差点  
No.1201 01302780020交差点

対策後 函館新外環状道路(赤川IC～函館空港IC)整備

● : 主要渋滞箇所

函館空港道路 H27.3.14開通 L=2.4km

函館空港道路 R3.3.28開通予定 L=7.6km

市道昭和団地通(神山工区)整備を引き続き推進(R3完了予定)

日吉中央通整備を引き続き推進(R6完了予定)

開通により交通が転換



【事例】北海道による渋滞対策

- No.1207五稜郭公園入口交差点(道道函館南茅部線×道道五稜郭公園線)は五稜郭公園近傍に位置しており、商業施設が多く立地していることから、交通が集中。終日、渋滞損失時間が大きいことから、主要渋滞箇所(1軸)として選定。
- 平成30年度の函館都市圏渋滞対策協議会において渋滞対策を検討し、令和元年度は、主に道路標示、導流線の対策を実施。
- 令和2年度は主に歩行者注意喚起看板、歩行者誘導看板設置の対策を実施しており、令和2年12月に対策が完了。

道道函館南茅部線×道道五稜郭公園線  
ごりょうかくこうえんいりぐち  
 (五稜郭公園入口交差点)

注意・誘導看板設置、導流線設置

《位置図》



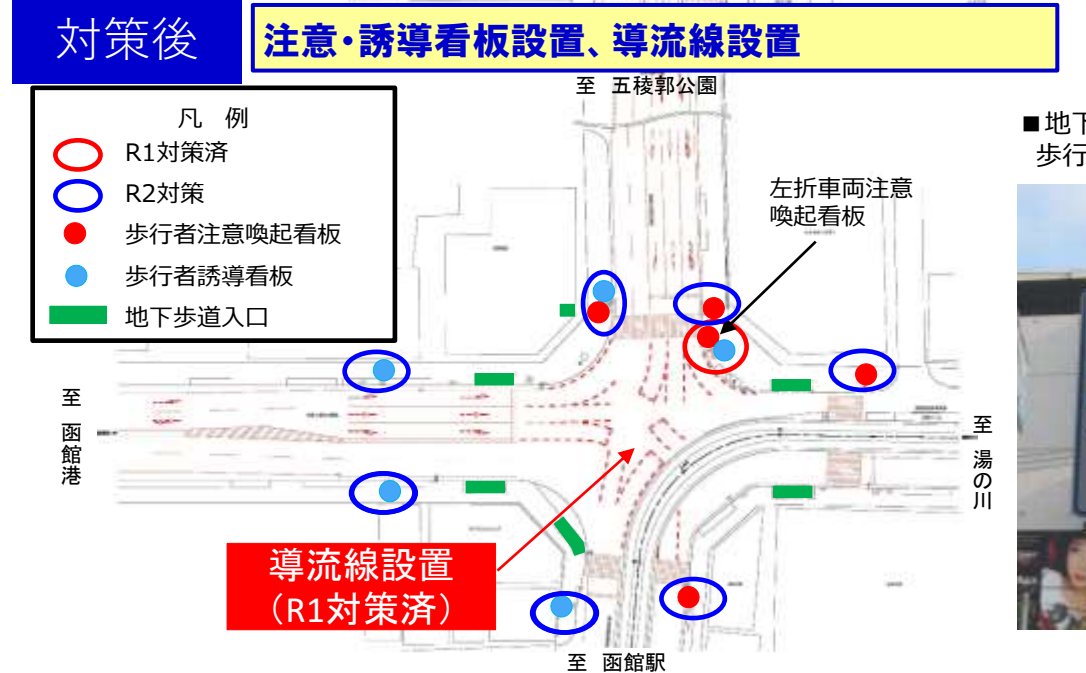
《広域図》



《説明図》



【歩行者による左折阻害の様子】





## 【事例】北海道による渋滞対策

- 苫小牧市内では、市街地の東西端部にICが設置されているため、広域交通と市街地内交通が輻輳している。朝夕の通勤・通学ラッシュ時を中心に、慢性的な渋滞が発生していた。
- 苫小牧中央ICの開通により広域交通と市街地内交通の輻輳が解消され混雑緩和が図られた。

### 一般国道36号×道道苫小牧環状線 しんかいちょう (新開町1丁目 交差点) など

### 道央自動車道 苫小牧中央IC整備

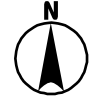
#### 《位置図》

- 主要渋滞箇所番号  
 40 1'軸、42 1'軸、43 1'軸、  
 44 1'軸、45 1'軸、46意見箇所、  
 47意見箇所、  
 1001 3軸(冬期) に該当



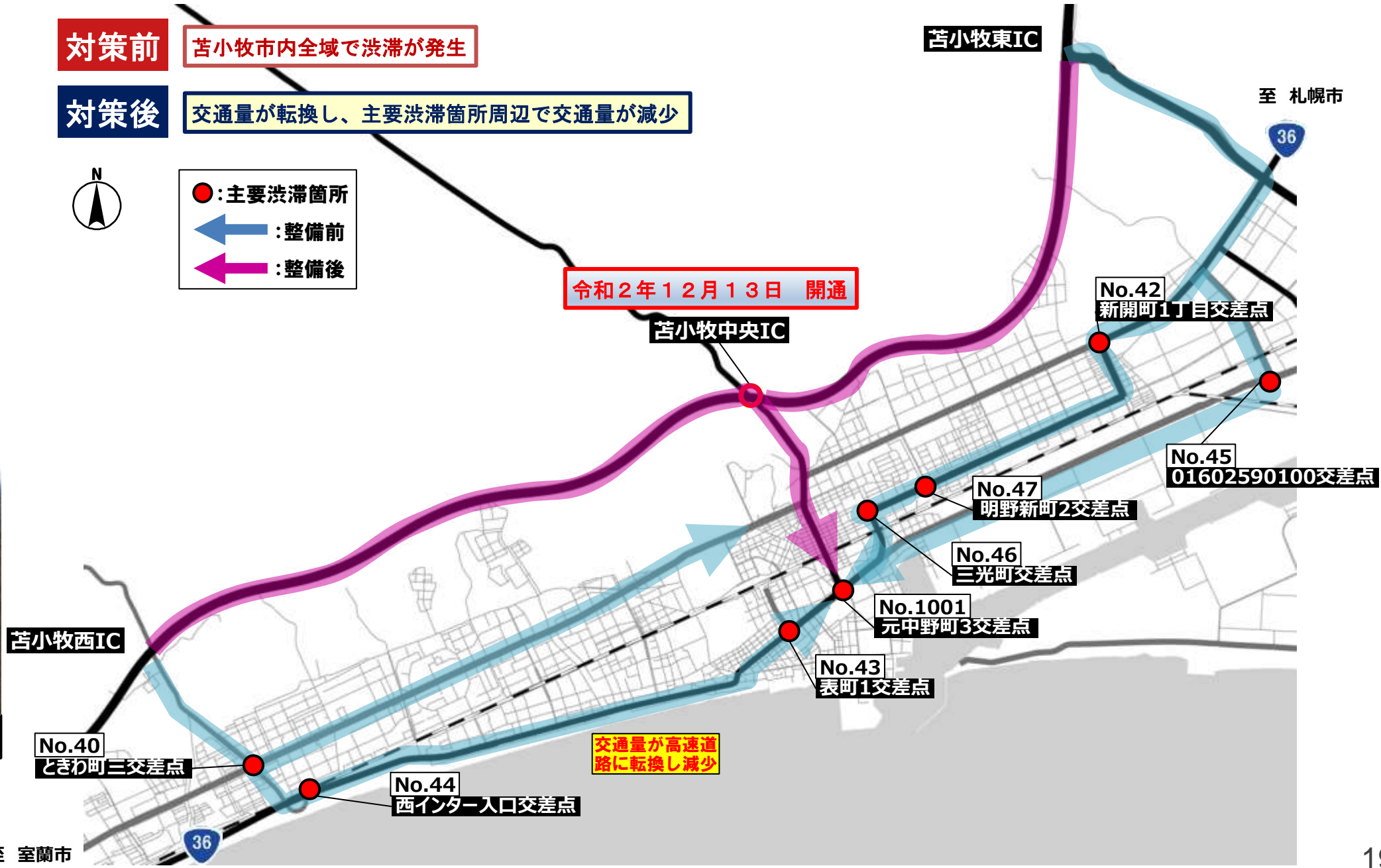
#### 《説明図》

- 対策前** 苫小牧市内全域で渋滞が発生
- 対策後** 交通量が転換し、主要渋滞箇所周辺で交通量が減少



- : 主要渋滞箇所
- ← (Blue) : 整備前
- ← (Purple) : 整備後

令和2年12月13日 開通





## 【事例】北海道開発局による渋滞対策

- 主要渋滞箇所No.51一般国道36号鷲別町1交差点は、朝夕の交通量ピーク時の交差点容量不足・隣接交差点での右折滞留車両および信号待ちにより渋滞が発生していた。
- 既設右折車線の延伸及び隣接交差点への右折車線の設置、カラー舗装による車線誘導の適正化・迷い対策を実施した。

### 一般国道36号×道道室蘭環状線 わしべつちよう (鷲別町1交差点)

### 右折車線延伸・右折車線カラー舗装

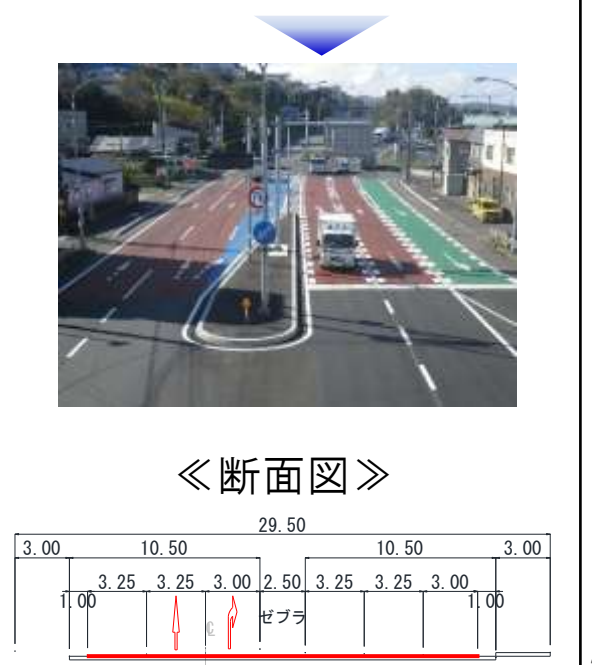
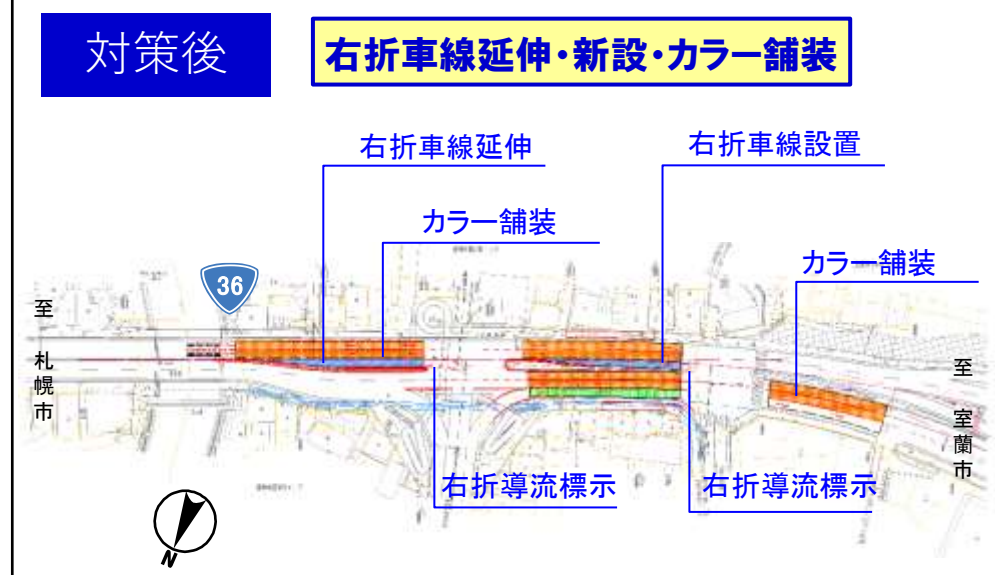
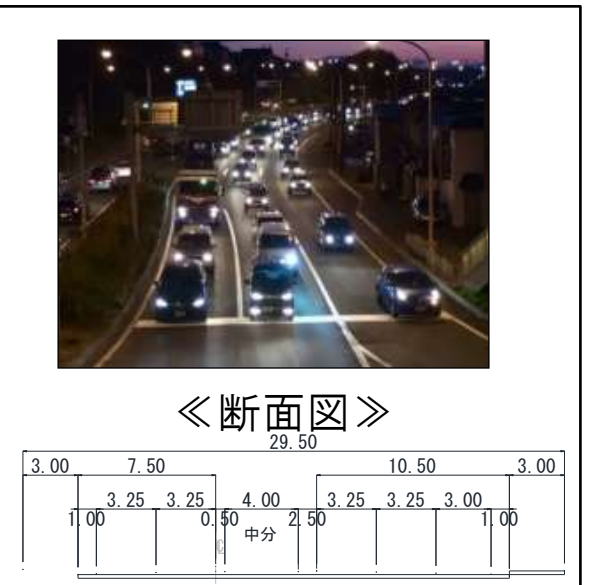
《位置図》



《広域図》



《説明図》





## 【事例】北海道開発局による渋滞対策

- 主要渋滞箇所No.1002,1003交差点は、6車線道路に挟まれた2車線道路のボトルネック区間となっており、交通の集中により、朝夕の通勤・通学ラッシュ時に慢性的な渋滞が発生していた。
- 渋滞対策として、車線数の増加や前後の交差点改良を行うことで、渋滞の解消を図った。

### 一般国道276号×緑町二条通(市道) おとわちょう (音羽町2交差点)など

### 国道276号 苫小牧市緑跨線橋(4車線化・右折車線の設置)

#### 《位置図》

主要渋滞箇所番号  
1002 3軸(大型商業施設)  
1003 3軸(大型商業施設)に該当

苫小牧市緑跨線橋  
一般国道276号

至 苫小牧市  
至 支笏湖

#### 《説明図》

#### 対策前

ボトルネックによる交通の集中

6車線区間      緑跨線橋:2車線区間      6車線区間

至 支笏湖      至 国道36号

#### 《断面図》

#### 対策後

4車線化・右折車線の設置

6車線区間      緑跨線橋:4車線区間      6車線区間

至 支笏湖      至 国道36号

#### 《断面図》

#### 《広域図》

No.1003  
音羽町2交差点

No.1002  
一般国道276号×市道王子通

●:主要渋滞箇所

至 札幌市      至 室蘭市

## 5. R3主要渋滞箇所対策・検討内容の議論

### ■ R3年度対策完了予定箇所

No.	協議会・地区	路線	交差点名	渋滞要因	対策内容	備考
23	札幌都市圏WG	一般国道36号×道道支笏湖公園線	錦町2丁目交差点	右折車両による後続直進車両の進行阻害	右折車線を1車線から2車線に増設	P24に詳細掲示
132	札幌都市圏WG	一般国道5号×道道前田新川線	新川交差点 (八軒10西10交差点)	右折レーンが不明確なため車両が輻輳しており、円滑な右折を阻害している	右折導流標示の設置	P25に詳細掲示
61	旭川都市圏WG	道道90号旭川環状線× 道道294号東川東神楽旭川線	旭神3条5丁目交差点	右折車両滞留による後続左折・直進車両の進行阻害	左折車線延伸	P26に詳細掲示
1204	函館都市圏WG	道道函館上磯線×東山墓園通(市道)	鍛冶交差点	環状道路(道道函館上磯線)に交通が集中	市道昭和団地通(神山工区)の整備	P27に詳細掲示
1205	函館都市圏WG	道道函館上磯線×道道赤川函館線	美原3丁目交差点	環状道路(道道函館上磯線)に交通が集中	市道昭和団地通(神山工区)整備	P28に詳細掲示



【事例】北海道開発局による渋滞対策予定

- 主要渋滞箇所No.23錦町2丁目交差点は、国道36号札幌側(A方向)、国道36号苫小牧側(B方向)において、右折車両による後続直進車両への阻害が発生している。
- 渋滞対策として、国道36号札幌側、国道36号苫小牧側の4車線明確化を行い、右折車両による直進車両への進行阻害を解消。

一般国道36号×道道支笏湖公園線  
にしきまち  
 (錦町2丁目交差点)

国道36号 4車線の明確化

《位置図》

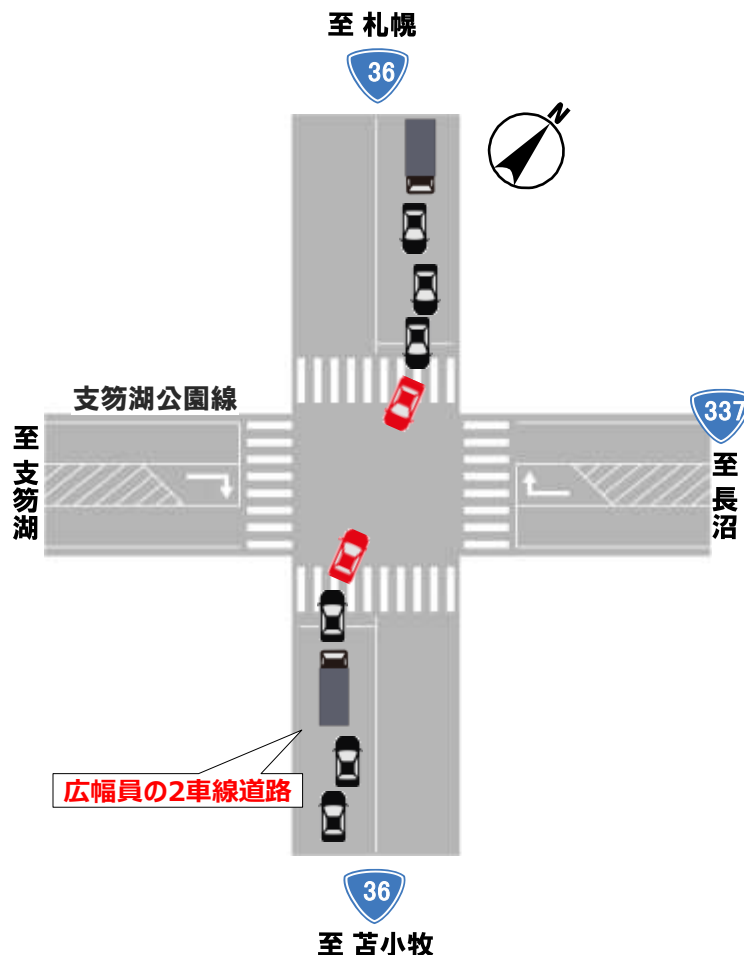
主要渋滞箇所番号23  
意見箇所に該当



《説明図》

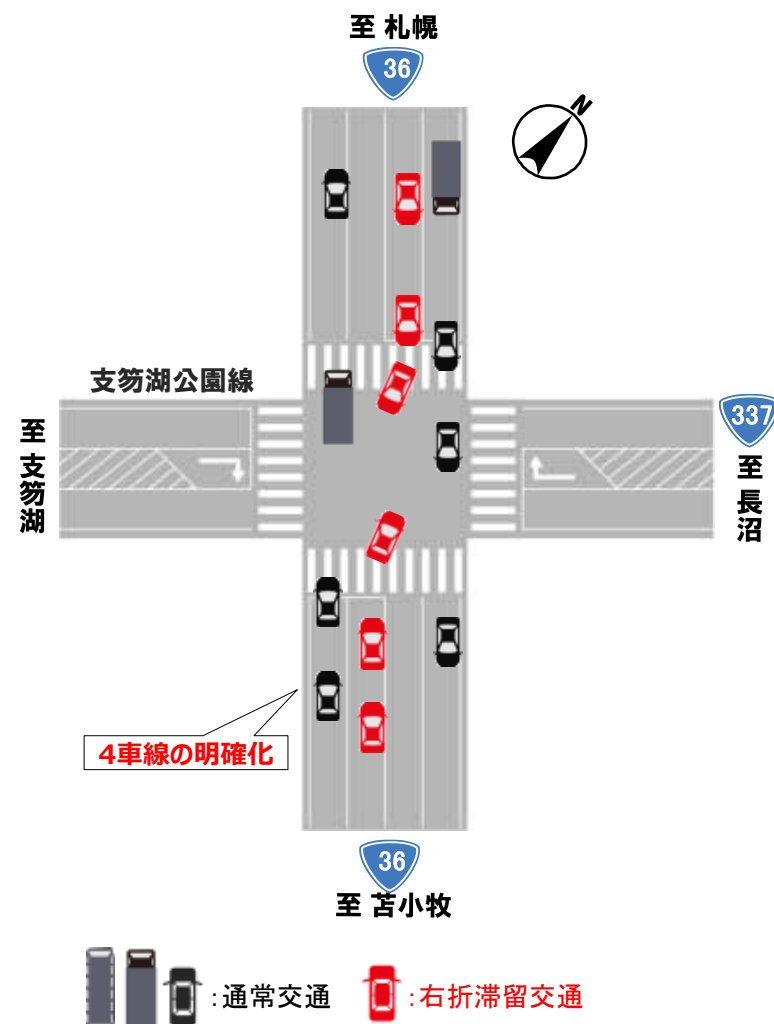
対策前

右折車両による後続直進車両の進行阻害

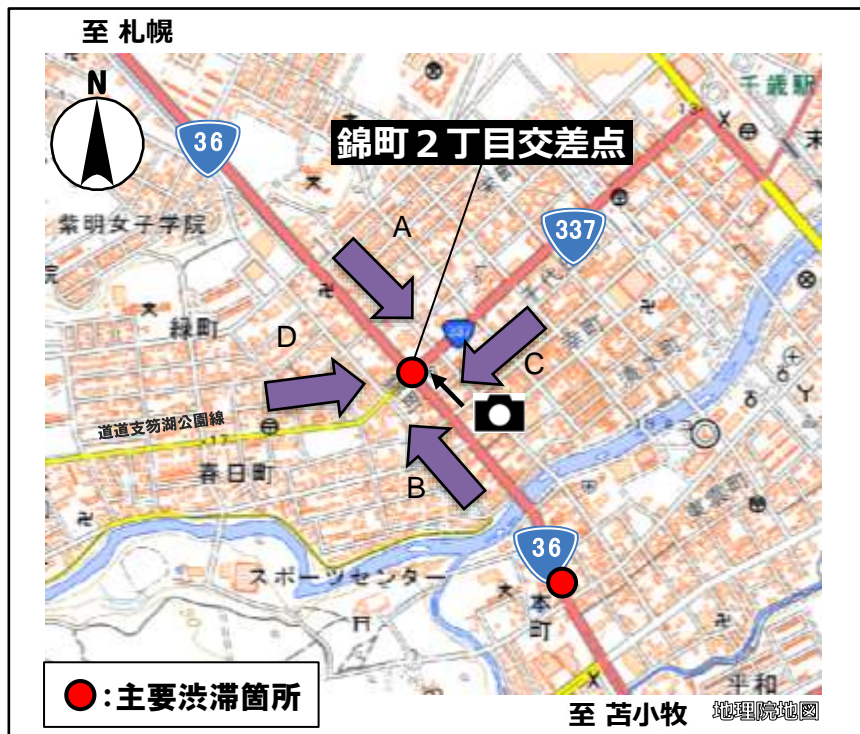


対策後

右折車線を1車線から2車線に増設



《広域図》





【事例】北海道開発局による渋滞対策予定

○主要渋滞箇所No132新川交差点は、右折レーンが不明確なため車両が輻輳しており、円滑な右折を阻害している。  
○渋滞対策として、右折レーンの整流化を目的に、右折導流標示の設置を行う。

一般国道5号×道道前田新川線  
(新川交差点(八軒10西10交差点))

右折導流標示の設置

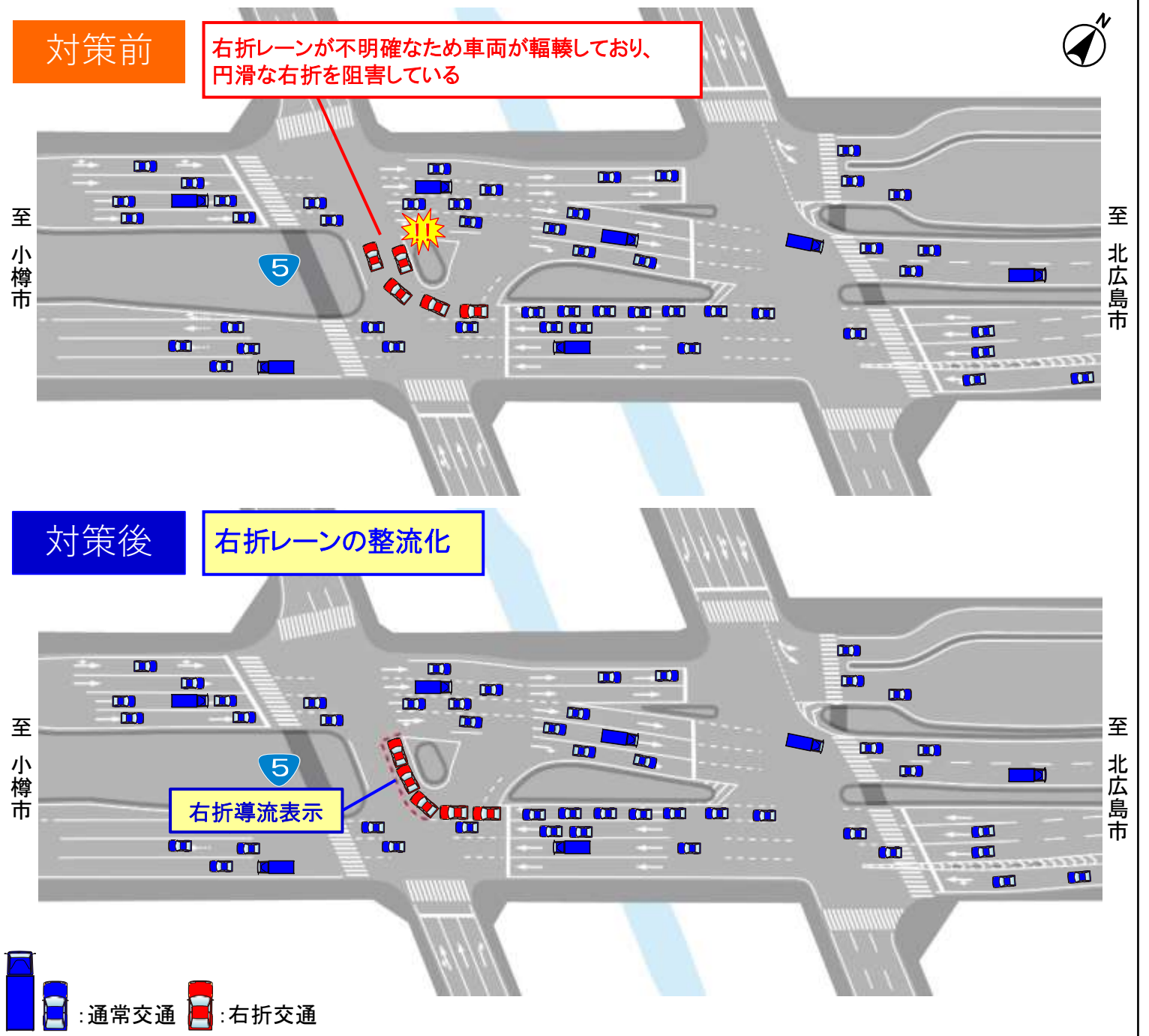
《位置図》



《広域図》



《説明図》





【事例】北海道による渋滞対策予定

- 主要渋滞箇所No.61(道道90号旭川環状線×道道294号東川東神楽旭川線)の、東川東神楽旭川線東川側では、右折滞留車両が左直車線とのテーパー部まで滞留することにより、左直車線への進入を阻害しているため渋滞が発生。
- 渋滞対策として、右折車両による左折・直進車両への阻害解消を目的に、左折車線を延伸する。

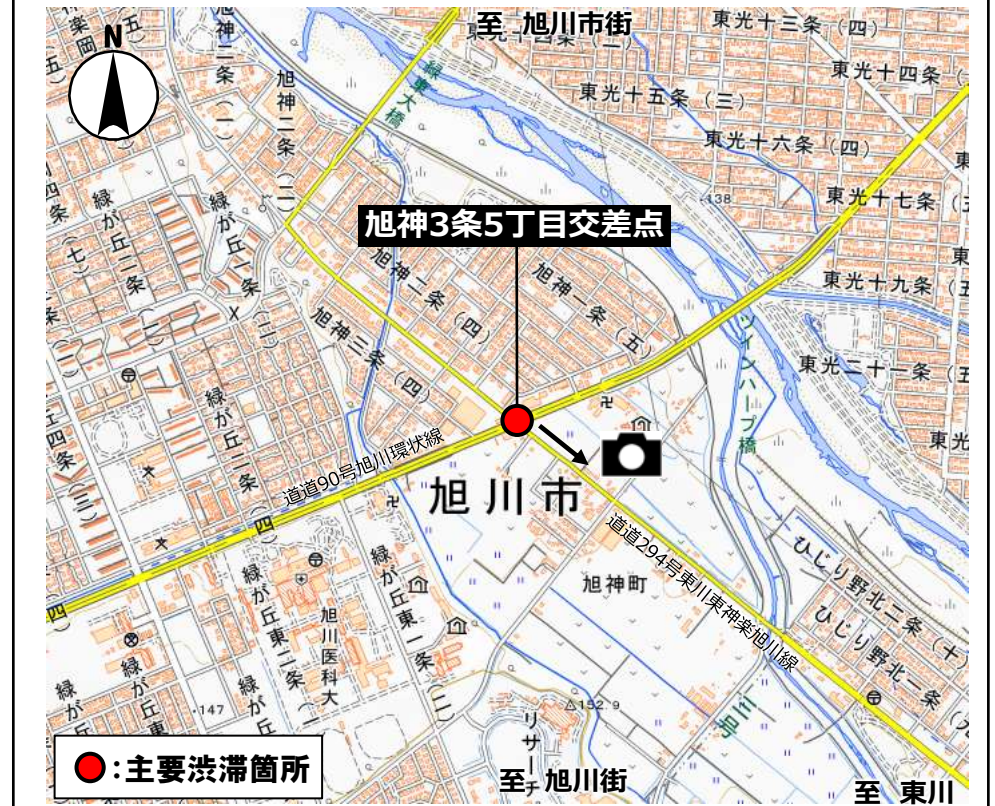
道道90号旭川環状線×道道294号東川東神楽旭川線  
(旭神3条5丁目交差点)

左折車線延伸

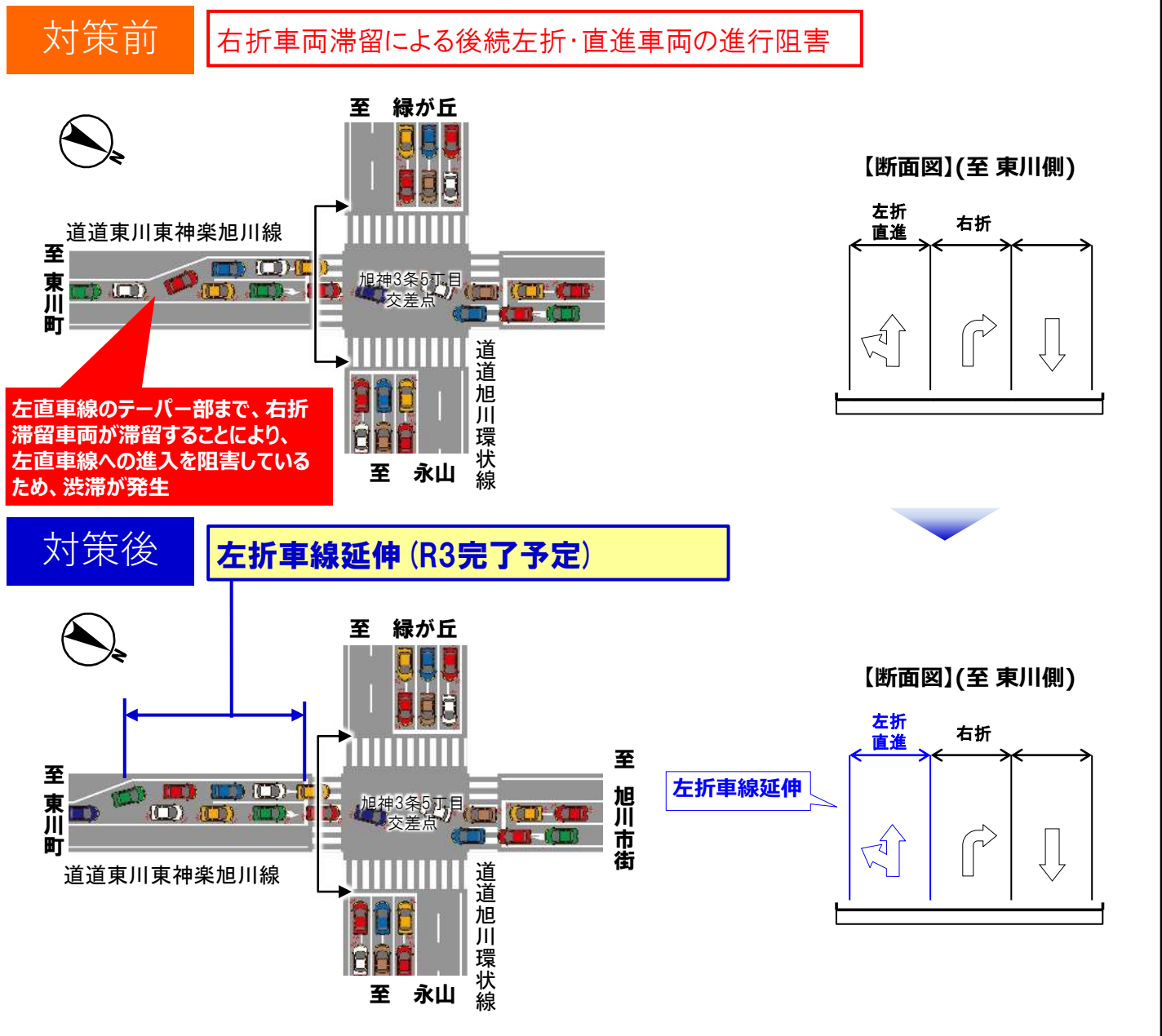
《位置図》



《広域図》



《説明図》





道路利用者会議意見箇所(トラック協会No.52、バス協会No.,14)

【事例】函館市による渋滞対策予定

- 主要渋滞箇所No.1204 鍛冶交差点では函館市内を通過する交通が道道函館上磯線に集中し、旅行速度が低下し、渋滞が発生している。
- 市道昭和団地通(神山工区)の開通により、道道函館上磯線の旅行速度の向上が期待され、渋滞の解消が見込まれる。

道道函館上磯線×東山墓園通(市道)  
(鍛冶交差点)

市道昭和団地通(神山工区)の整備

《位置図》

主要渋滞箇所番号1204  
意見箇所に該当



《広域図》



《説明図》

対策前

環状道路(道道函館上磯線)に交通が集中



対策後

市道昭和団地通(神山工区)の整備





## 【事例】函館市による渋滞対策予定

- 主要渋滞箇所No.1205 美原3丁目交差点では函館市内を通過する交通が道道函館上磯線に集中し、旅行速度が低下し、渋滞が発生している。
- 市道昭和団地通(神山工区)の開通により、道道函館上磯線の旅行速度の向上が期待され、渋滞の解消が見込まれる。

### 道道函館上磯線×道道赤川函館線 (美原3丁目交差点)

### 市道昭和団地通(神山工区)の整備

#### 《位置図》



#### 《広域図》



#### 《説明図》

対策前

環状道路(道道函館上磯線)に交通が集中

● : 主要渋滞箇所

函館上磯線に交通が集中し、複数の主要渋滞箇所が存在

対策後

市道昭和団地通(神山工区)整備

● : 主要渋滞箇所

昭和団地通(神山工区)

開通により交通が転換

## 6. 道路利用者会議意見箇所への対応



## 6. 道路利用者会議意見箇所への対応

## ■ 道路利用者との連携強化に対する取組(バス協会・トラック協会からの「渋滞対策の要望箇所」)の経緯

- H29年度に、「渋滞対策の要望箇所」として、バス協会・トラック協会から意見を聴取し、既存の主要渋滞箇所との整合を確認した。
- H30年度に、主要渋滞箇所に非該当の箇所の選定指標値の確認や現地確認を実施し、渋滞が確認された5箇所を主要渋滞箇所に追加した。
- R1年度に、バス協会から、新たに「渋滞対策の要望箇所」が8箇所が挙げられ、各箇所について机上分析を実施した。
- R2年度は、R1要望箇所のうち、主要渋滞箇所非該当の3箇所を現地確認し、主要渋滞箇所への追加を検討する。
- また、バス協会・トラック協会から、新たに「渋滞対策の要望箇所」24箇所が挙げられた。

## 【H29年度】

- 「渋滞対策の要望箇所」として、バス協会およびトラック協会から意見を聴取
- 既存の主要渋滞箇所との整合(対策済み、対策中、検討中、主要渋滞箇所非該当)を確認

調査内容: 渋滞がひどいと考えられる箇所(路線名や目印、区間等)  
調査結果: バス協会⇒21箇所、トラック協会⇒40箇所

## 【H30年度】

- 最新のプローブデータ(H29データ)を用いて、主要渋滞箇所選定指標の該当状況を確認
- これまでの主要渋滞箇所に非該当であった13箇所のうち、選定指標に該当し、かつ現地調査で渋滞が確認された5箇所を主要渋滞箇所に追加

## 【R1年度】

- バス協会から改めて上げられた「渋滞対策の要望箇所」は25箇所、H29年度要望箇所に対して、新たに追加された箇所は8箇所  
⇒8箇所のうち、既存主要渋滞箇所に該当する4箇所は引き続き主要渋滞箇所の対策を推進  
⇒非該当の4箇所は、選定指標値の確認や現地確認の結果を踏まえ、今後の対応を検討

## 【R2年度】

- R1年度に新たに要望があった箇所のうち、主要渋滞箇所に選定されていない箇所(バス協会意見箇所3箇所)について、現地状況を確認  
⇒主要渋滞箇所選定指標に該当し、かつ、現地状況からも渋滞が確認された箇所について、主要渋滞箇所への追加
- バス協会・トラック協会からR2年度に新たに要望された「渋滞対策の要望箇所」は24箇所(バス協会:11箇所、トラック協会:13箇所)  
⇒24箇所のうち、既存主要渋滞箇所に該当する12箇所は引き続き主要渋滞箇所の対策を推進  
⇒非該当の12箇所は、選定指標値の確認や現地確認の結果を踏まえ、今後の対応を検討  
⇒一方、R1年度までに要望箇所があった箇所のうちの26箇所(バス協会:11箇所、トラック協会:15箇所)は、R2年度の要望無し

# 6. 道路利用者会議意見箇所への対応

## ■ 「渋滞対策の要望箇所」の最新対策状況

### ・バス協会要望箇所

No	渋滞箇所	対策状況*				
		H29年度末	H30年度末	R1年度末	R2年度末	
H29 要望箇所	1 国道5号	札幌自動車道小樽IC交差点付近	対策中	対策中	(要望無)	(要望無)
	2 国道5号	札幌新道との交差点付近(宮の沢2条3丁目)	非該当	非該当	非該当	非該当
	3 国道12号	もみじ台通りとの交差点付近(厚別東5条4丁目)	検討中	検討中	検討中	検討中
	4 国道12号	北1条東6丁目(東8丁目篠路通)交差点	検討中	対策中	対策済み	検討中
	5 国道12号	厚別中央2条2丁目(平和通)交差点	対策中	対策中	対策済み	対策済み
	6 国道36号	厚別東通交差点付近	対策中	対策中	対策中	対策済み
	7 国道36号	札幌ドーム付近	検討中	検討中	検討中	検討中
	8 国道36号	月寒中央通3丁目(白石中の島通)交差点	対策中	対策中	対策済み	対策済み
	9 国道39号	旭川市永山2条4丁目～4条18丁目(冬期)	対策中	対策済み	対策済み	対策済み
	10 国道39号	セブンイレブン前交差点(網走市北6条西7丁目)	非該当	非該当	(要望無)	(要望無)
	11 国道40号	旭川市末広1条3丁目～護国神社 交差点付近(冬期)	対策済み	対策済み	対策済み	対策済み
	12 国道241号	十勝大橋～音更木野大通東12丁目	対策中	対策中	対策中	対策中
	13 道道83号	湯倉神社～深堀町間	対策中	対策中	対策中	(要望無)
	14 道道100号	湯倉神社～昭和交差点	対策中	対策中	対策中	(要望無)
	15 市道南7条米里通	道道89号札幌環状線との交差点	対策中	対策中	対策中	対策中
	16 道道下手稲通り	札幌新道との交差点付近(発寒13条2丁目)	検討中	検討中	検討中	検討中
	17 旭川市内緑橋・昭和通り	4条交差点付近	対策済み	対策済み	対策済み	(要望無)
	18 貝塚光和通り	貝塚線橋付近	対策中	対策中	(要望無)	(要望無)
	19 宝橋通り	文苑・新橋間(冬期)	非該当	非該当	(要望無)	(要望無)
	20 羊ヶ丘通り(千歳方面)	清田真栄(100万ボルト付近)	検討中	検討中	検討中	(要望無)
	21 富士見緑ヶ岡通り	鶴ヶ岱五差路交差点	検討中	検討中	(要望無)	(要望無)
R1 追加要望箇所	22 国道12号	旭川市神居町神居古潭	-	-	検討中	検討中
	23 国道230号	南35条西10丁目交差点	-	-	検討中	検討中
	24 国道230号	川沿10条2丁目交差点	-	-	非該当	非該当
	25 市道(札幌市)西3丁目線	南4条～北5条(北方向)	-	-	非該当	非該当
	26 市道(札幌市)羊ヶ丘線(羊ヶ丘通)	道道341号厚別滝野公園通との交差点	-	-	検討中	検討中
	27 ときわ通り(函館市道)	五稜郭タワー交差点	-	-	非該当	(要望無)
	28 桐花通(函館市道)	函館バス昭和営業所～昭和タウンプラザ付近	-	-	非該当	非該当
	29 市道(釧路市)鶴ヶ岱3	五差路交差点～市立病院間	-	-	検討中	(要望無)
R2 追加要望箇所	30 国道12号	札幌市時計台交差点付近	-	-	-	非該当
	31 国道12号	サッポロファクトリー交差点付近	-	-	-	対策中
	32 国道12号	さっぽろ創成スクエア交差点付近	-	-	-	非該当
	33 国道39号	網走市北6条西7丁目(セブンイレブン前交差点)	-	-	-	非該当
	34 国道36号	苫小牧市日の出町1丁目～明野新町2丁目交差点付近	-	-	-	対策済み
	35 国道36号(東向き)	苫小牧市かわぞえ跨線橋交差点～苫小牧市永福1丁目交差点付近	-	-	-	非該当
	36 国道36号(東向き)	苫小牧市元町1丁目～栄町3丁目交差点付近	-	-	-	非該当
	37 道道89号(札幌環状線)	菊水元町5条交差点付近	-	-	-	対策中
	38 道道82号(西野真駒内清田線)	川沿1条～真駒内上町1丁目	-	-	-	対策中
	39 道道781号(苫小牧環状線)	春日町3丁目～住吉町2丁目7交差点付近	-	-	-	検討中
	40 札幌市道(羊ヶ丘線・羊ヶ丘通)	道道82号福住桑園通との交差点(札幌市内向)	-	-	-	検討中

※ 「対策済み」「対策中」「検討中」は既存の主要渋滞箇所を選定されている箇所の対策実施状況、「非該当」は既存の主要渋滞箇所該当しない箇所、「(要望無)」はR1年度のバス協会の要望により削除された箇所、「-」はその時点では要望されていなかった箇所

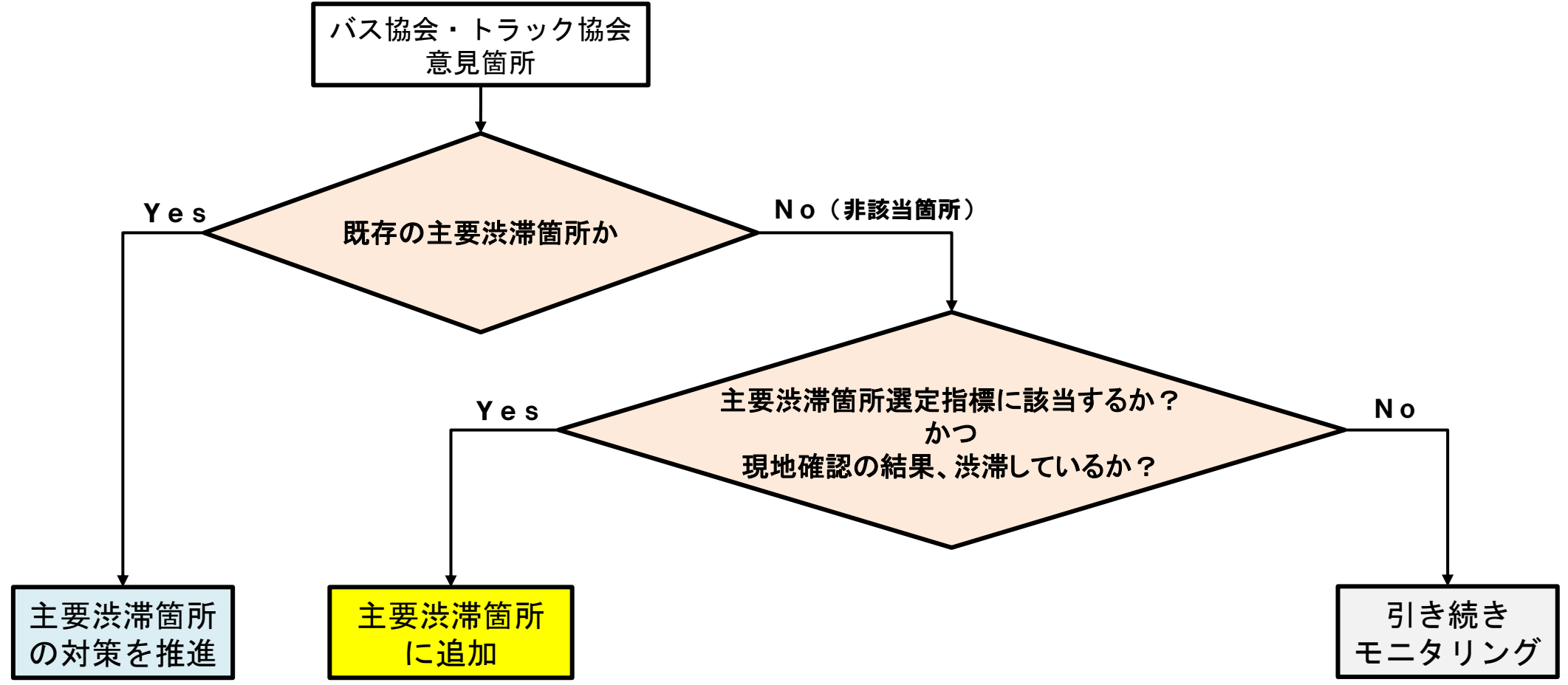
### ・トラック協会要望箇所

No	渋滞箇所	対策状況*				
		H29年度末	H30年度末	R1年度末	R2年度末	
H29 要望箇所	1 国道5号	大沼IC付近	非該当	対策中	対策中	(要望無)
	2 国道5号	小樽付近	対策中	対策中	対策済み	(要望無)
	3 国道5号	北33西9～北33東8	検討中	検討中	検討中	検討中
	4 国道12号	滝川市江部乙付近	検討中	検討中	検討中	検討中
	5 国道12号	大塚駅前付近	非該当	非該当	非該当	非該当
	6 国道12号	神居古潭トンネル付近	非該当	検討中	検討中	検討中
	7 国道12号	道道89号(環状通)交差点付近	非該当	検討中	検討中	検討中
	8 国道12号	砂川市南5丁目付近	非該当	非該当	非該当	非該当
	9 国道12号	春志内トンネル付近	非該当	検討中	検討中	検討中
	10 国道12号	東橋付近	対策済み	対策済み	対策済み	(要望無)
	11 国道36号	環状線交差点付近	対策中	対策中	対策済み	(要望無)
	12 国道36号	北広島インター付近	対策中	対策中	対策中	(要望無)
	13 国道36号	札幌ドーム付近	検討中	検討中	検討中	検討中
	14 国道36号	社台地区	対策中	対策中	対策中	(要望無)
	15 国道36号	すすきの交差点付近	検討中	検討中	検討中	検討中
	16 国道36号	美しが丘1-10交差点付近	対策中	対策中	対策中	(要望無)
	17 国道36号	白老町竹浦地区	非該当	検討中	検討中	検討中
	18 国道38号	帯広市西19条～西2条	検討中	検討中	検討中	検討中
	19 国道38号	帯広市大通北1丁目(国道236号交差点)	検討中	検討中	検討中	検討中
	20 国道38号	芽室～帯広～池田	検討中	検討中	検討中	検討中
	21 国道40号	名寄～士別	非該当	非該当	非該当	非該当
	22 国道44号	JRA付近	対策中	対策中	対策済み	(要望無)
	23 国道230号	札幌市南区藤野	非該当	非該当	非該当	非該当
	24 国道230号	南区～定山溪	対策済み	対策済み	対策済み	(要望無)
	25 国道237号	道東道占冠インター下り口	非該当	非該当	非該当	非該当
	26 国道241号	音更町木野市街	対策中	対策中	対策中	(要望無)
	27 国道274号	道道273号(苗穂丘珠通)との交差点	検討中	検討中	検討中	検討中
	28 国道274号	札幌市白石区流通センター付近	対策中	対策中	対策中	検討中
	29 国道274号	札幌新道新川IC付近	検討中	検討中	検討中	検討中
	30 国道274号	道道112号(伏古拓北通)との交差点	検討中	検討中	検討中	検討中
	31 国道274号	札幌インター付近～東雁来	対策中	対策中	対策中	対策中
	32 国道274号	南7条米里線との交差点	対策中	対策中	対策中	(要望無)
	33 国道274号	米里1-2～国道275号交差点	対策中	対策中	対策中	(要望無)
	34 国道275号	雁来大橋	検討中	検討中	検討中	検討中
	35 国道275号	札幌新道交差点付近	対策中	対策中	対策中	(要望無)
	36 国道275号	北1東13交差点付近	対策済み	対策済み	対策済み	(要望無)
	37 道道125号	新川IC付近	検討中	検討中	検討中	検討中
	38 道道865号	麻生五叉路交差点	対策中	対策中	対策中	(要望無)
	39 北5条通	センチュリーロイヤルホテル～石狩街道	検討中	検討中	検討中	検討中
	40 北5条手稲通り	札幌西インター付近	検討中	検討中	検討中	検討中
R2 追加要望箇所	41 国道5号	札幌市中央区北1条東1丁目交差点付近	-	-	-	検討中
	42 国道5号	札幌市北区北33条西5丁目交差点付近	-	-	-	非該当
	43 国道12号	滝川市JR江部乙駅前付近	-	-	-	検討中
	44 国道12号	深川市音江 片側一車線のところ	-	-	-	非該当
	45 国道237号	旭川市から来て美瑛町の入り口付近	-	-	-	非該当
	46 国道239号	留萌IC出入り口	-	-	-	非該当
	47 国道274号	札幌新道、平和通り交差点付近	-	-	-	検討中
	48 国道274号	札幌市東区東雁来～札幌市厚別区厚別	-	-	-	対策中
	49 国道274号	日高町(国道237号)交差点付近	-	-	-	非該当
	50 国道337号	小樽市銭函4丁目(道道225号)交差点付近	-	-	-	非該当
	51 国道5号～国道274号	札幌市北区新川～札幌市厚別区大谷地付	-	-	-	対策中
	52 道道100号(函館上磯線・産業道路)	函館市美原～山の手間	-	-	-	対策中
	53 道道124号(宮の沢北1条線)	国道5号との交差点	-	-	-	非該当

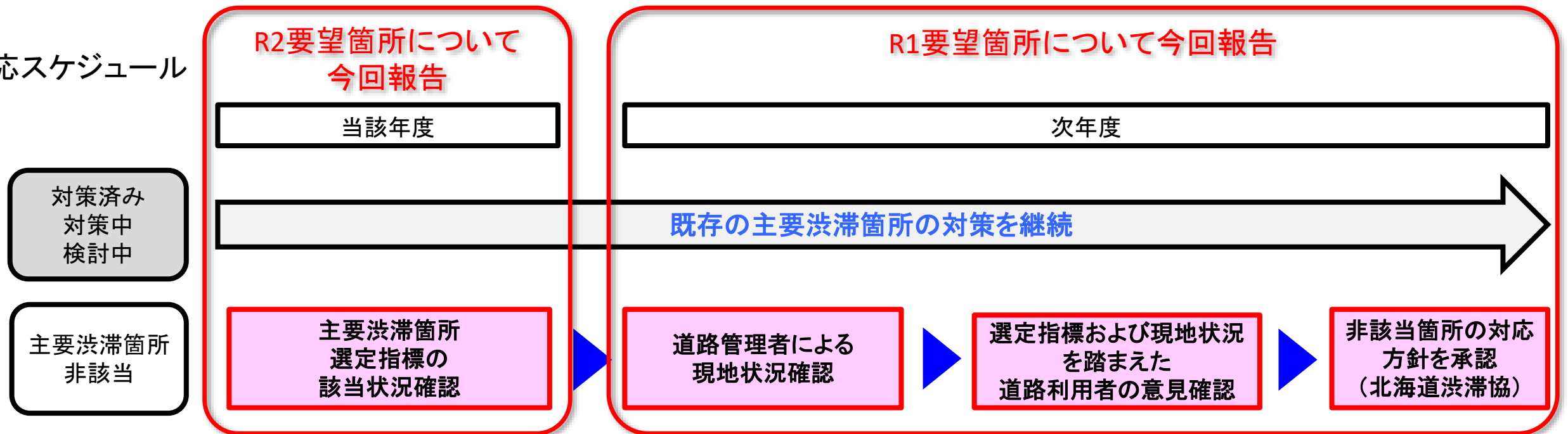


○道路利用者(バス協会・トラック協会)からの意見箇所については、既存の主要渋滞箇所には非該当の場合、主要渋滞箇所選定指標の該当有無や現地確認結果を踏まえ、今後の対応を検討することとしている。

■バス協会・トラック協会意見箇所の対応フロー



■対応スケジュール



## ■ R1要望におけるモニタリング実施箇所 位置図

○R1年度のバス協会からの要望のうち、既存主要渋滞箇所には該当しない箇所は、下図の3箇所であり、最新データでの渋滞指標確認、現地調査により追加の判断を行う。



**凡例**

<主要渋滞箇所>  
 ● 箇所  
 ● 解除箇所  
 ■ 区間  
 ■ エリア

<道路種別>  
 高速道路  
 一般国道  
 道道  
 市町村道

エリア：都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域  
 区間：交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

### バス協会意見箇所 【R1追加箇所（既存主要渋滞箇所には非該当）】

非該当箇所	路線・箇所
西3丁目線 南4条～北5条(北進一通)	札幌市道
川沿10条2丁目交差点	国道230号
桐花通り 函館バス昭和営業所～商業高校付近	函館市道

■ R1要望箇所のモニタリング結果

- 主要渋滞箇所に非該当となるバス協会意見箇所(R1追加箇所) 3箇所について、主要渋滞箇所選定指標の該当状況(R1データ)と現地状況を確認。
- 主要渋滞箇所選定指標に該当し、かつ、現地状況からも渋滞が確認された1箇所について、主要渋滞箇所への追加することとする。残り2箇所は引き続きモニタリングを実施する。

■ 一般道

No	管轄開発建設部	既存主要渋滞箇所に非該当の箇所	主要渋滞箇所選定指標	現地確認結果	判定
			旅行速度※20km/h以下		
1	札幌	国道230号 川沿10条2丁目交差点	非該当	渋滞発生	引き続きモニタリング
2	札幌	西3丁目線 南4条～北5条(北進一通)	非該当	車線減少による混雑	引き続きモニタリング
3	函館	桐花通り 函館バス昭和営業所～商業高校付近	2軸(休日夕ピーク)等に該当	渋滞発生	主要渋滞箇所に追加

※朝ピーク：7時台～8時台  
 夕ピーク：17時台～18時台  
 昼オフピーク：9時台～16時台の平均旅行速度

主要渋滞箇所選定指標へ該当し、かつ現地状況からも渋滞が確認された箇所について、主要渋滞箇所に追加する。



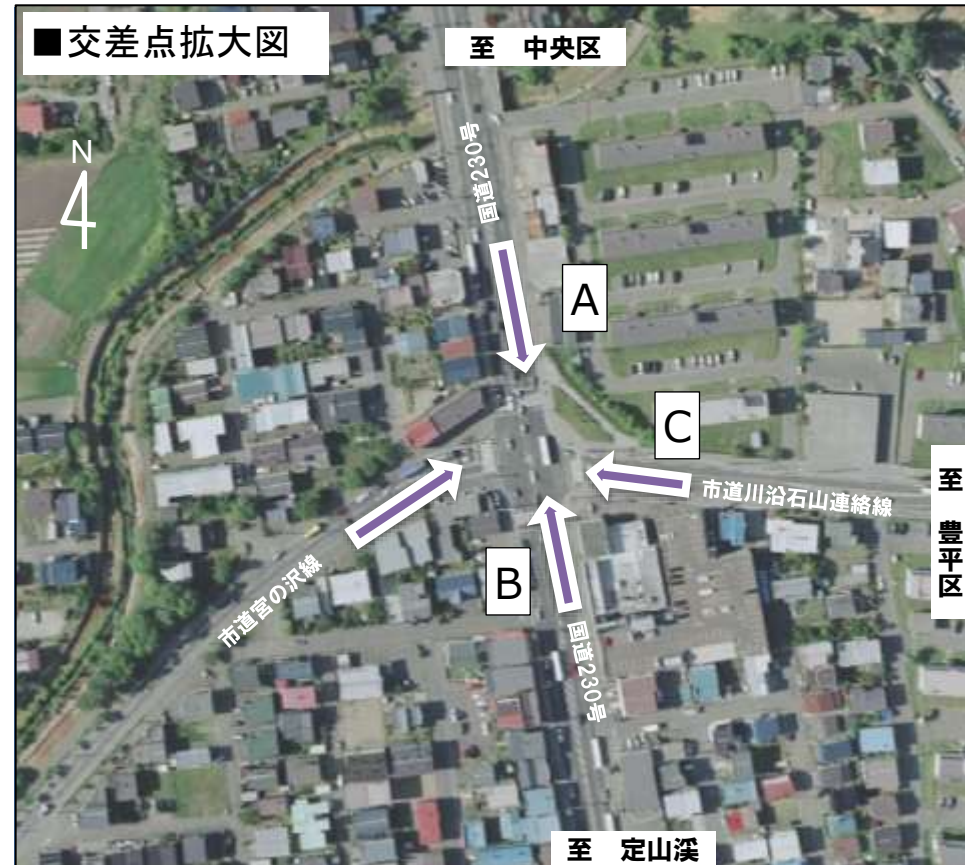
# 6. 道路利用者会議意見箇所への対応

## ■ No24. 【札幌】国道230号 川沿10条2丁目交差点

○当該交差点流入部付近の速度指標は20km/hを上回っており、区間全体における極端な速度低下や渋滞は見られないためモニタリング継続が妥当である。



### ■ 現地確認結果



路線・方向	渋滞損失時間 (年)	渋滞損失時間 (ピーク時)	最低速度(平日)	最低速度(休日)	現地状況
A	19.7万人 時間/年 <80万人時間/年	76.4人時間/時 <182.6人時間/時	31.3km/h(タピーク) > 20km/h	24.2km/h(昼オフピーク) > 20km/h	渋滞発生
B			33.9km/h(昼オフピーク) > 20km/h	34.4km/h(昼オフピーク) > 20km/h	渋滞発生
C			25.8km/h(朝ピーク) > 20km/h	26.5km/h(昼オフピーク) > 20km/h	渋滞発生

【判定】  
モニタリング  
継続



# 6. 道路利用者会議意見箇所への対応

## ■ No25. 【札幌】西3丁目線 南4条～北5条(北進一方通行)

○当該区間の速度は20km/hを下回っており、現地調査結果でも荷捌き車両による車線の減少などによって混雑は見られるが、沿道は高度利用がなされており、対象区間の使われ方について検討を行いつつ、モニタリング継続を行う。



### ■ 現地確認結果



路線・方向	渋滞損失時間(年)	渋滞損失時間(ピーク時)	最低速度(平日)	最低速度(休日)	現地状況
A	-	-	7.2km/h(タピーク) < 20km/h	6.5km/h(タピーク) < 20km/h	車線減少による混雑

【判定】  
モニタリング  
継続



# 6. 道路利用者会議意見箇所への対応

## ■ No28. 【函館】桐花通 函館バス昭和営業所～昭和タウンプラザ付近

○当該区間の速度は20km/hを下回っており、現地調査結果でも渋滞の発生を確認したため、「桐花通 函館バス昭和営業所～昭和タウンプラザ付近」を主要渋滞箇所へ追加することが妥当である。



### ■ 現地確認結果



### ■ 区間拡大図



路線・方向	渋滞損失時間 (年)	渋滞損失時間 (ピーク時)	最低速度(平日)	最低速度(休日)	現地状況
A	9.4万人時間/年	21.5人時間/時	15.6km/h(タピーク) < 20km/h	12.7km/h(タピーク) < 20km/h	渋滞発生
B	< 80万人時間/年	< 182.6人時間/時	17.4km/h(昼オフピーク) < 20km/h	14.0km/h(タピーク) < 20km/h	渋滞発生

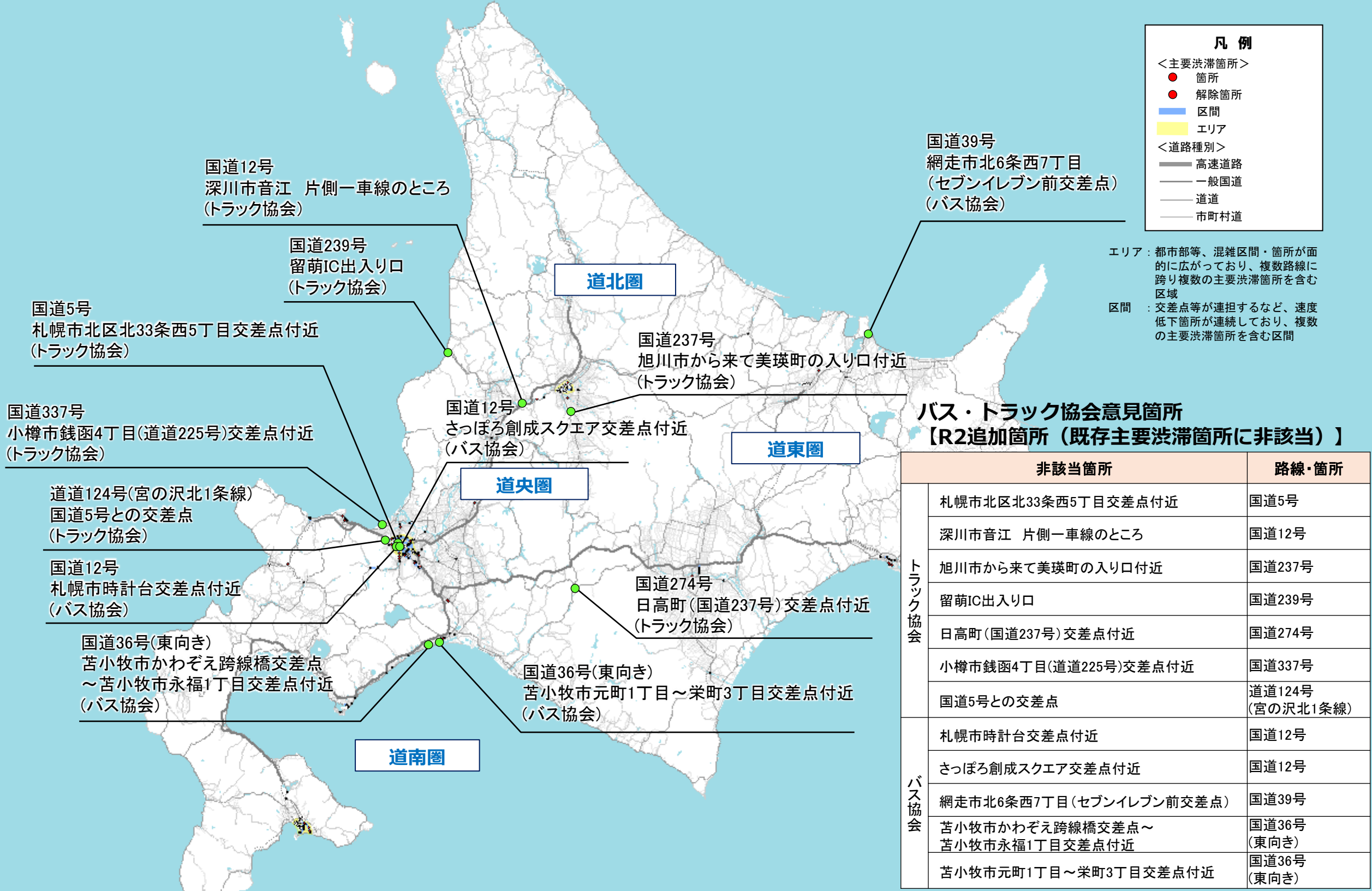
【判定】  
主要渋滞箇所へ追加

\*渋滞損失時間：R2.11.22（日）の交通量、ETC2.0プローブ情報（R1.9～11の休日）の旅行速度、対象区間を函館バス昭和営業所～昭和タウンプラザ付近のL=0.3kmとして算出。



## ■ R2追加要望箇所 位置図

○R2年度のバス協会・トラック協会からの要望により新たに追加された箇所のうち、既存主要渋滞箇所には該当しない箇所は、下図の12箇所であり、主要渋滞箇所選定指標の該当有無や現地確認結果を踏まえ、今後の対応を検討



# 6. 道路利用者会議意見箇所への対応

## ■ R2追加要望箇所 選定指標該当状況

- 主要渋滞箇所に非該当の追加要望箇所(R2追加箇所)12箇所について、R1データにより、主要渋滞箇所選定指標の該当状況を確認
- 12箇所のうち、7箇所が主要渋滞箇所選定指標に該当
- 来年度に12箇所の現地状況を確認する予定
- ⇒主要渋滞箇所選定指標に該当し、かつ、現地状況からも渋滞が確認された箇所について、主要渋滞箇所への追加を検討する予定

## ■ 一般道

※朝ピーク：7時台～8時台  
 タピーク：17時台～18時台  
 昼オフピーク：9時台～16時台の平均旅行速度

No	管轄開発建設部	既存主要渋滞箇所に非該当の箇所	主要渋滞箇所選定指標
			旅行速度*20km/h以下
42	札幌	国道5号 札幌市北区北33条西5丁目交差点付近	2軸(平日タピーク)等に該当
44	札幌	国道12号 深川市音江 片側一車線のところ	非該当
45	旭川	国道237号 旭川市から来て美瑛町の入り口付近	2軸(休日昼オフピーク)等に該当
46	留萌	国道239号 留萌IC出入り口	非該当
49	室蘭	国道274号 日高町(国道237号)交差点付近	非該当
50	小樽	国道337号 小樽市銭函4丁目(道道225号)交差点付近	2軸(平日タピーク)等に該当
53	札幌	道道124号(宮の沢北1条線) 国道5号との交差点	2軸(休日タピーク)等に該当
30	札幌	国道12号 札幌市時計台交差点付近	2軸(平日タピーク)等に該当
32	札幌	国道12号 さっぽろ創成スクエア交差点付近	2軸(平日タピーク)等に該当
33	網走	国道39号 網走市北6条西7丁目(セブンイレブン前交差点)	2軸(平日昼オフピーク)等に該当
35	室蘭	国道36号(東向き) 苫小牧市かわぞえ跨線橋交差点～苫小牧市永福1丁目交差点付近	非該当
36	室蘭	国道36号(東向き) 苫小牧市元町1丁目～栄町3丁目交差点付近	非該当

主要渋滞箇所選定指標に該当し、かつ、現地状況からも渋滞が確認された箇所について、  
 主要渋滞箇所への追加を検討する予定

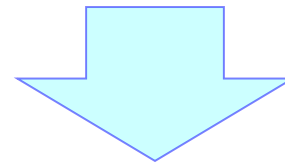
## 7. 札幌新道 札幌西IC～新川IC周辺の渋滞対策



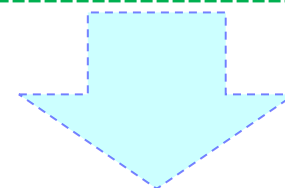
**令和元年度までの検討内容**

交通課題が特に集中する「札幌西IC～新川IC区間」を優先的な調査・検討区間として選出

基礎調査、ETC2.0データを基にした広域OD分析を実施し、最新の道路課題を確認

**令和2年度の調査・検討内容**

- 短期対策として信号現示調整を実施
- 本年度、複数パターンの信号現示による感度分析・試行を実施し、交通量・渋滞長等の交通実態を調査
- 試行の結果、新川ICオフランプの最大渋滞長は、現況 2,500m から 970m 改善し、1,530m となった。

**令和3年度以降の方針（案）**

更なる信号現示パターンの試行実施や、右折導流標示の設置による、右折レーンの整流化等、渋滞対策の検討及び実施を推進

- 本年度、複数パターンの信号現示による感度分析・試行を実施し、交通量・渋滞長等の交通実態を調査。
- 試行の結果、新川ICオフランプの最大渋滞長は、現況 2,500m から 970m 改善し、1,530m となった。
- 渋滞長の発生状況等を踏まえ、信号現示の更なる改善案について、警察と連携して検討中。
- 次年度、更なる信号現示パターンの試行実施を行い、最適な信号現示を設定。

信号現示 1サイクル120秒 (青現示52秒、赤現示68秒)	段階	現況: 最大渋滞長2,500m <span style="margin-left: 100px;">970m改善</span> <span style="margin-left: 100px;">対策(試行): 最大渋滞長1,530m</span>
	第1現示	
	第2現示	
	第3現示	
第4現示		

\*渋滞長は現況: R1.9.18(水)、対策案: R2.10.14(水)の交通量調査より。

🚗 : 交差点の滞留車両
 🚗 : 国道の走行車両
 🚗 : オフランプからの合流車両

## 8.新しい生活様式における交通状況を 踏まえた渋滞対策方針

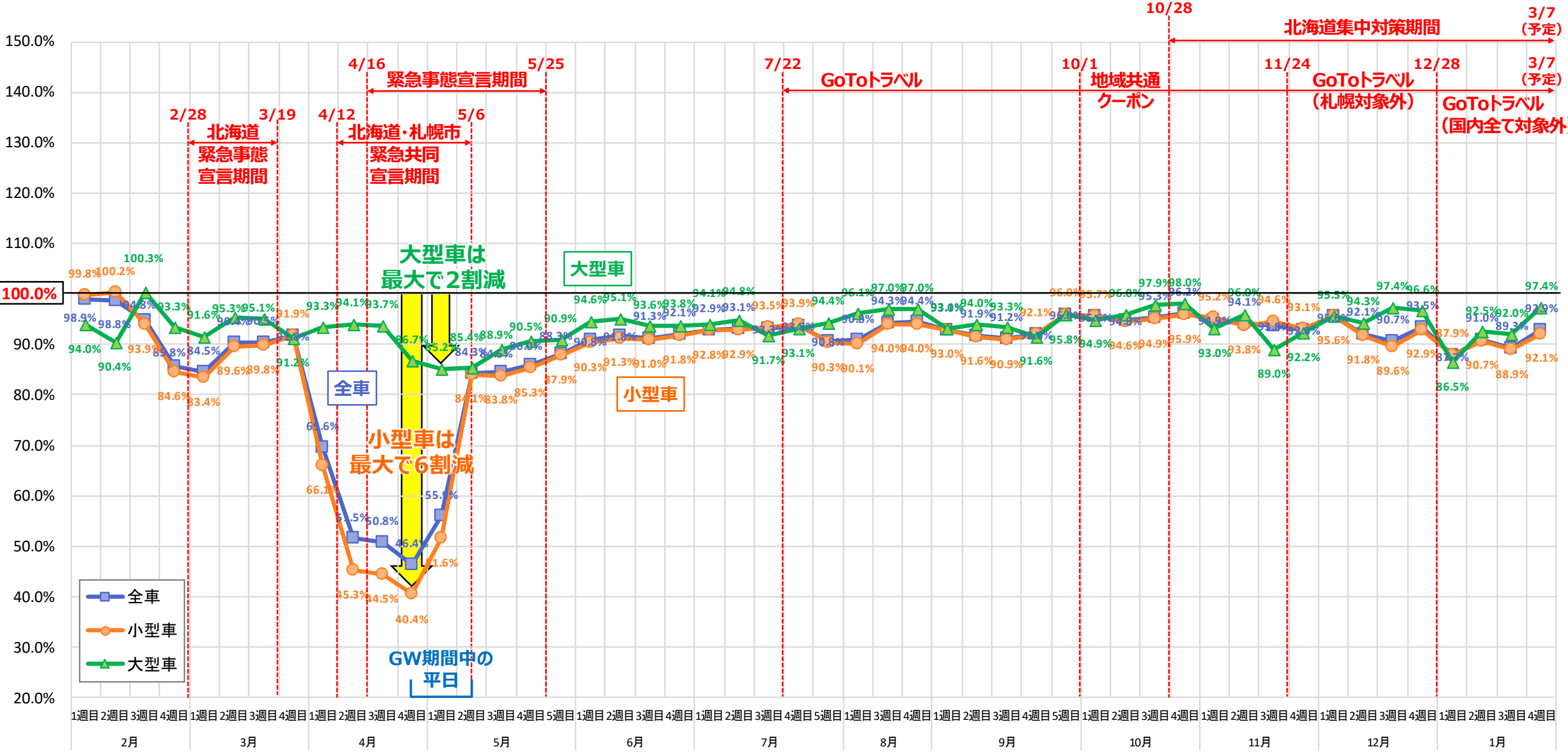


## 8-1.道内の新型コロナウイルスの 交通状況への影響

## 北海道内の交通量の増減【主な都市(道内9都市)、前年比】

○平日: 緊急事態宣言解除後、全車で「1割程度の減少」が続き、12月以降においても、「1割程度の減少」

データ: 直轄国道9地点の平均交通量  
 国道12号 札幌市、国道278号 函館市、国道5号 小樽市  
 国道12号 旭川市、国道37号 室蘭市、国道38号 釧路市  
 国道236号 帯広市、国道39号 北見市、国道40号 稚内市



※2019年2月1週目~12月5週目及び2020年1月1週目~12月5週目は確定値、2021年1月1週目~は速報値  
 ※2019年は5月1週目に平日が無かったため、5月2週目の平日平均を採用  
 ※2020年のGW期間中の平日は4/27(月)、4/28(火)、4/30(木)、5/1(金)を示す  
 ※2020年の8月2週目はお盆期間のため休日とする  
 ※2020年の12月5週目は年末年始のため休日とする

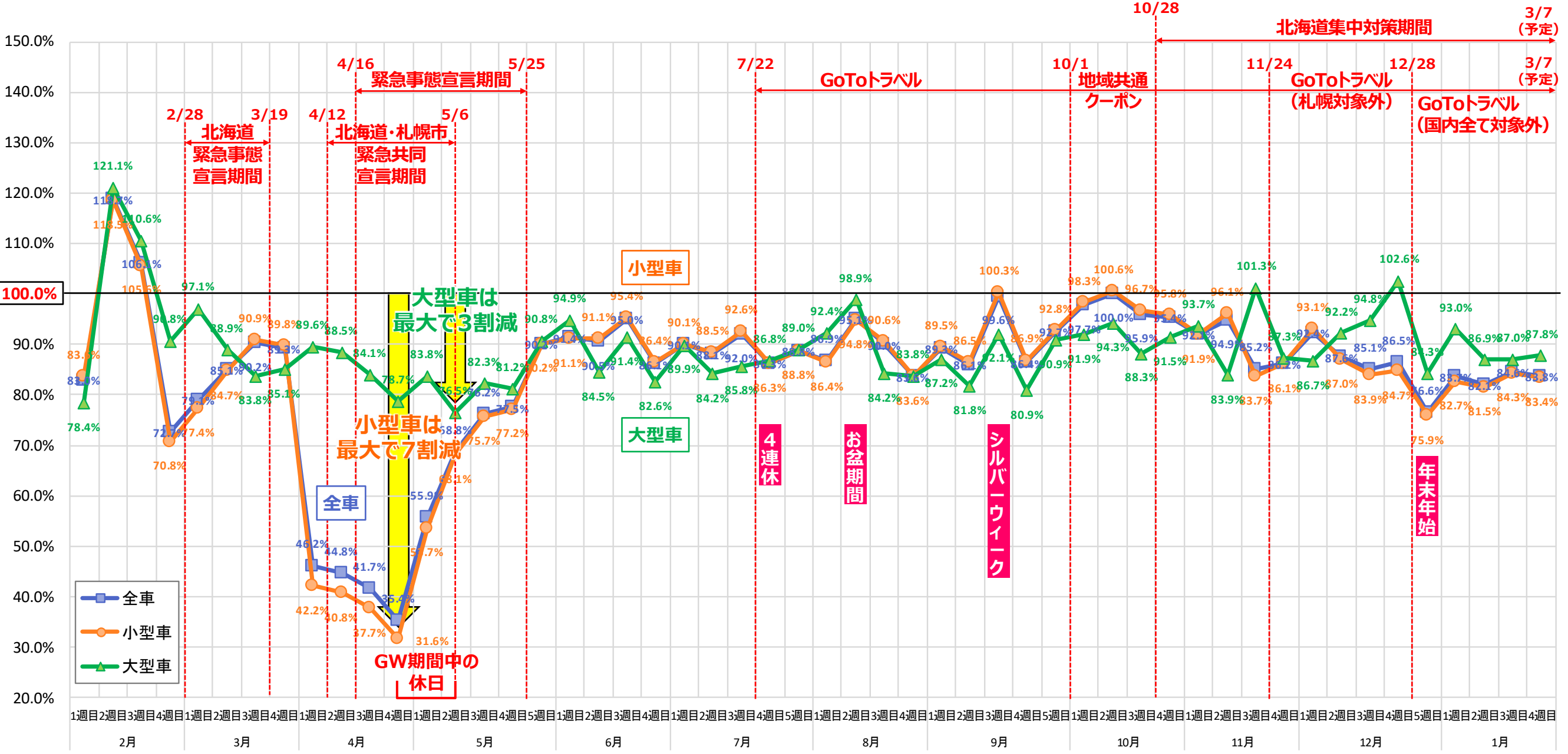
※週単位



## 北海道内の交通量の増減【主な都市(道内9都市)、前年比】

○休日:9月シルバーウィーク及び10月は、全車で「前年と同程度」  
12月以降は「1割から2割程度の減少」

データ：直轄国道9地点の平均交通量  
 国道12号 札幌市、国道278号 函館市、国道5号 小樽市  
 国道12号 旭川市、国道37号 室蘭市、国道38号 釧路市  
 国道236号 帯広市、国道39号 北見市、国道40号 稚内市



※週単位

※2019年2月1週目～12月5週目及び2020年1月1週目～12月5週目は確定値、2021年1月1週目～は速報値  
 ※GW期間の休日は、2019年は4/27(土)～5/6(月)、2020年は4/25(土)～4/26(日)、4/29(水)、5/2(土)～5/6(水)を示す  
 ※お盆期間の休日は、2019年は8/13(火)～8/18(日)、2020年は8/11(火)～8/16(日)を示す  
 ※年末年始の休日は、2019年は12/30(月)～2020/1/5(日)、2020年は12/30(水)～2021/1/3(日)を示す

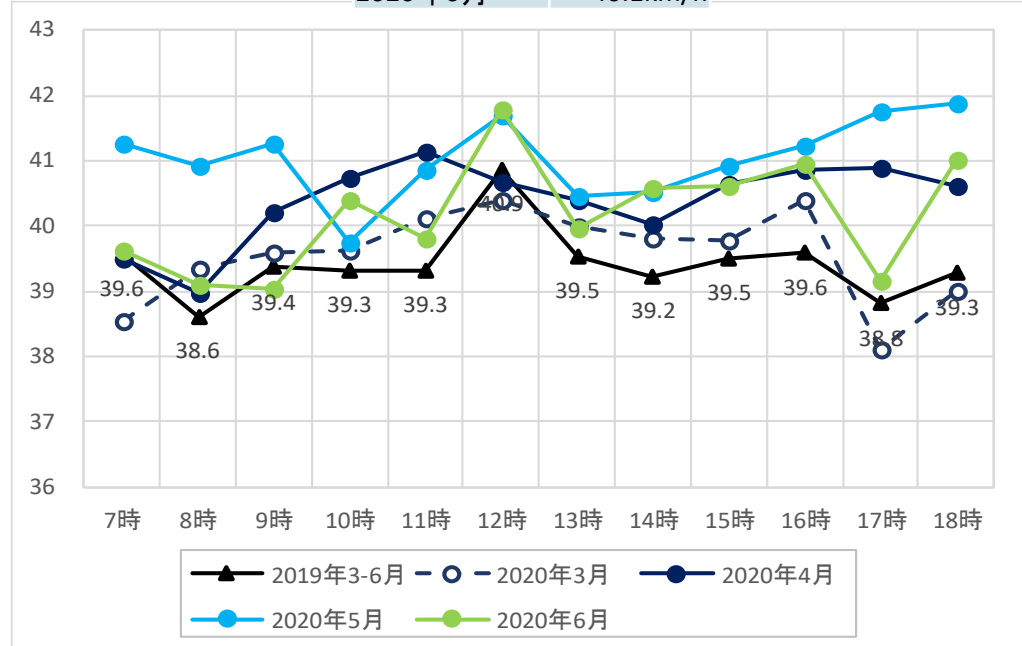
■ 道内主要9都市一般道の平均旅行速度の変化(平日)

○平日12時間平均旅行速度は、**39.4km/h**(2019年3-6月)→**41.0km/h**に**向上**(6月は40.1km/h)

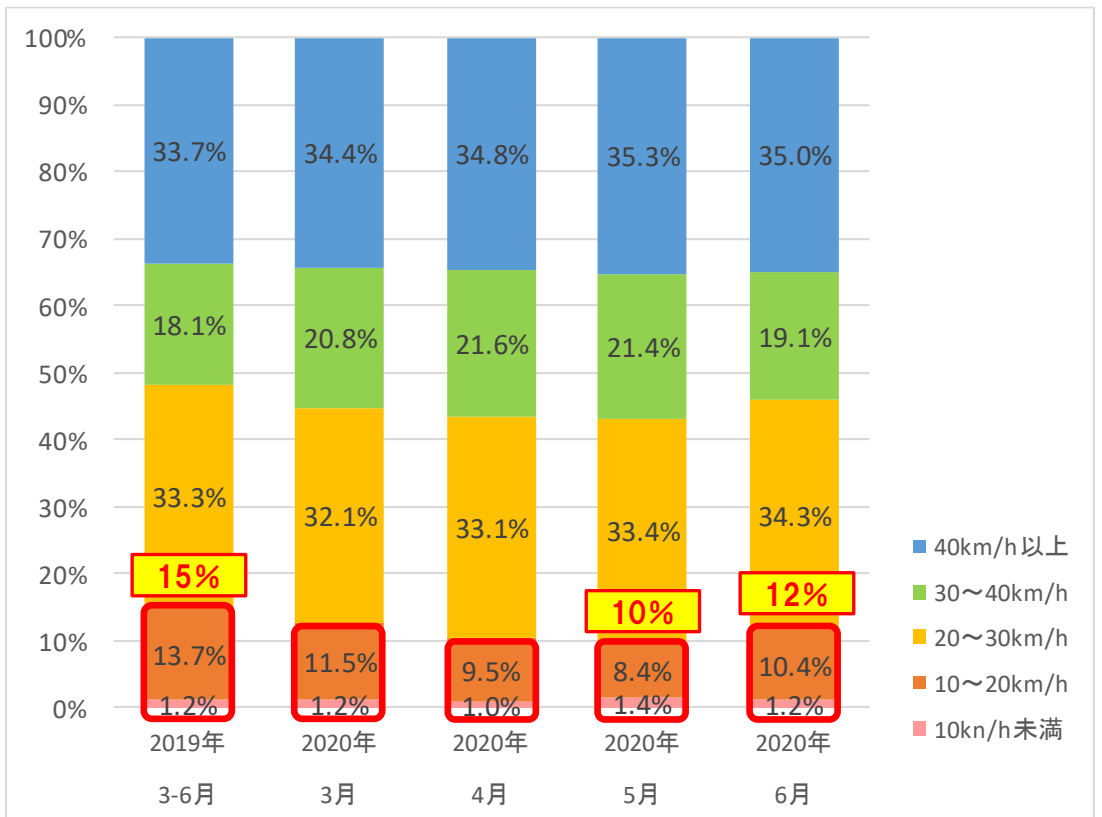
○平日12時間平均旅行速度20km/h未満の区間は、**15%**(2019年3-6月)→**10%**に**減少**(6月は12%)

<時間帯別 平均旅行速度(平日)>

平日昼間12時間平均	
2019年3-6月	39.4km/h
2020年3月	39.6km/h
2020年4月	40.4km/h
2020年5月	41.0km/h
2020年6月	40.1km/h



<速度ランク別の区間数構成比>  
平日昼間12時間平均



※リンク数ベース

(出典)ETC2.0プローブデータ(道道以上の一般道を対象)



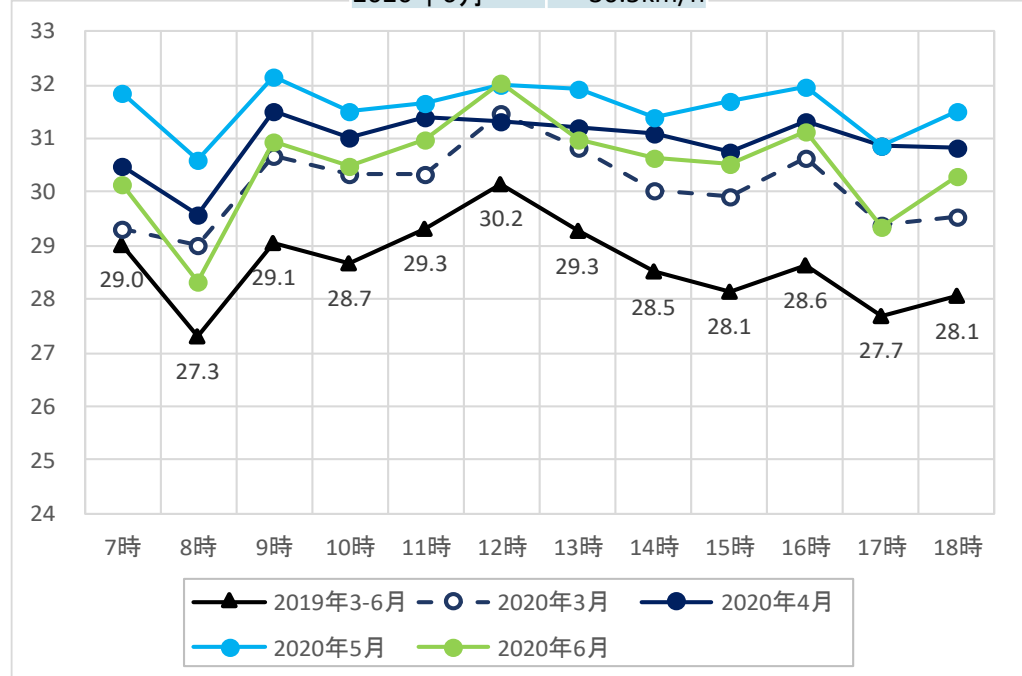
■ 札幌市内一般道の平均旅行速度の変化(平日)

○平日12時間平均旅行速度は、**28.6km/h**(2019年3-6月)→**31.6km/h**に**向上**(6月は30.5km/h)

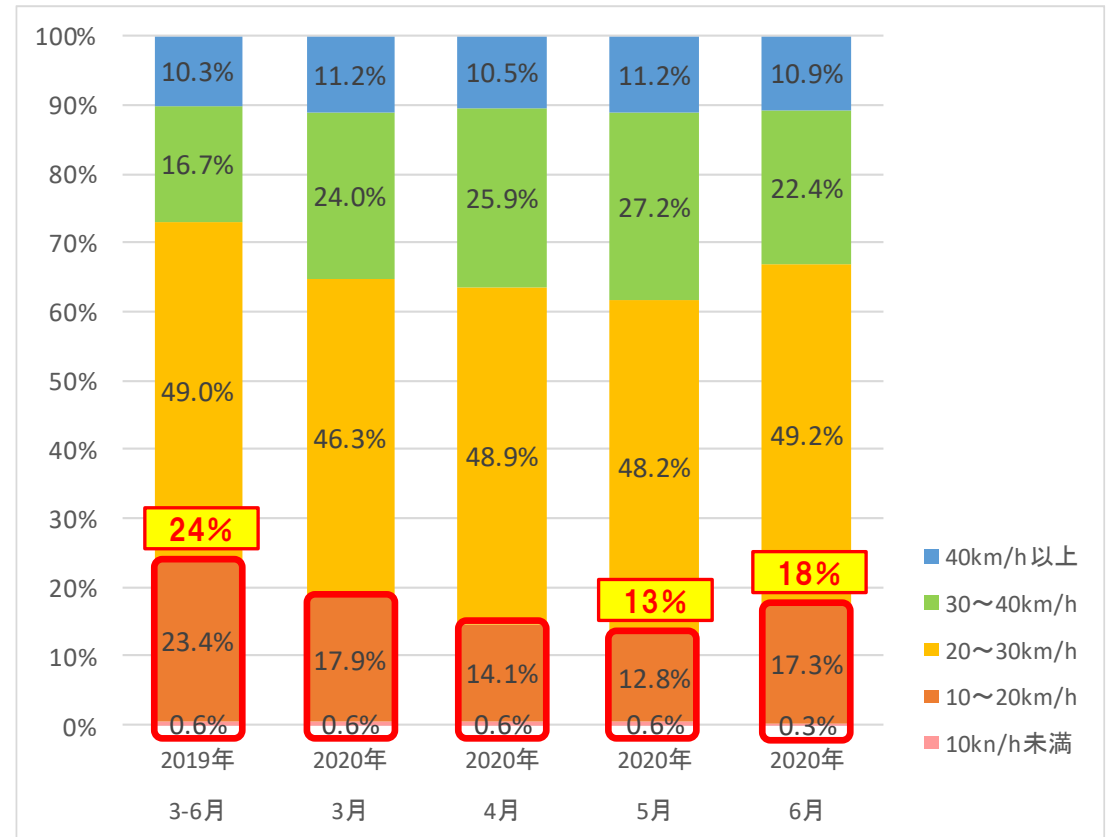
○平日12時間平均旅行速度20km/h未満の区間は、**24%**(2019年3-6月)→**13%**に**減少**(6月は18%)

<時間帯別 平均旅行速度(平日)>

平日昼間12時間平均	
2019年3-6月	28.6km/h
2020年3月	30.1km/h
2020年4月	30.9km/h
<b>2020年5月</b>	<b>31.6km/h</b>
2020年6月	30.5km/h



<速度ランク別の区間数構成比>  
平日昼間12時間平均



※リンク数ベース

(出典)ETC2.0プローブデータ(道道以上の一般道を対象)

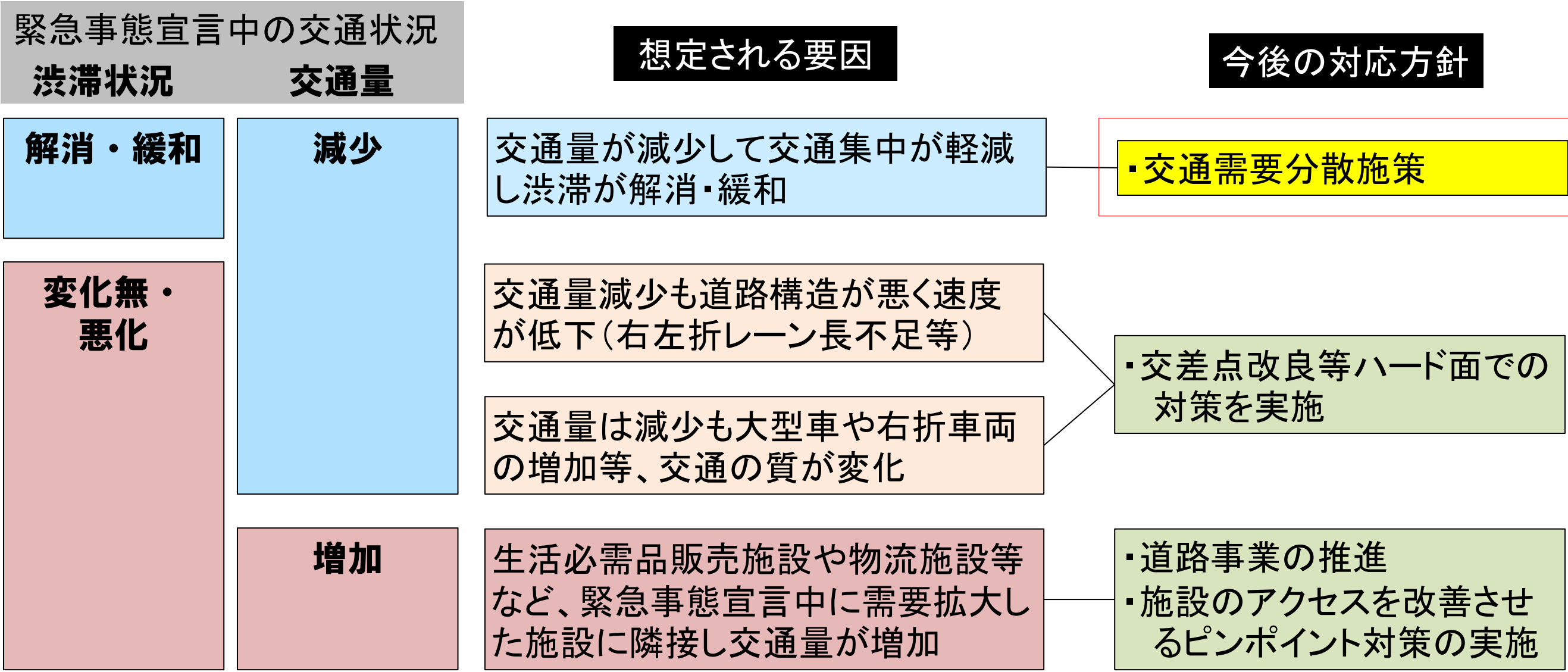
## 8-2. 新しい生活様式における 今後の渋滞対策のあり方



■ 緊急事態宣言中の交通状況の変化と今後の対応方針

- 交通量が減少し渋滞状況が改善した箇所では、新しい生活様式を踏まえた交通需要分散施策（TDM等）により、渋滞を解消できる可能性があるため、先行的に札幌、函館で取り組みを実施。
- R3以降は全道的に交通需要分散施策（TDM等）を検討。
- 緊急事態宣言期間に交通量が減少したものの改善が見られなかった箇所については、渋滞要因を分析した上で、引き続きハード対策等を検討。

◆ 対策フロー(案)



## 8-3. 今後のTDM施策の検討(案)



※令和3年度 道路関係予算概算要求概要P49より

5 道路システムのデジタル化

### (4) データプラットフォームの構築と多方面への活用

- 最新技術を活用し、関係機関と連携を図りつつ簡易かつ効率的にデータ収集蓄積を実施するとともに、全国統一の開かれたデータプラットフォームを構築し、維持管理のほか様々な分野で活用します。
- ETC2.0等のビッグデータを活用したデータ分析により、道路交通マネジメントを高度化し、交通需要マネジメント (TDM) により主要渋滞箇所100箇所の解消を目指します。

#### 【データプラットフォームの構築】

##### ＜背景/データ＞

- ・ ETC2.0車載器は、約530万台(令和2年7月末時点)まで普及

- 新技術を用いてETC2.0や地図基盤データなどのデータを効率的に収集し、様々な分野で利活用を実施
- 車載型センシング技術を活用し、道路の3次元データの収集を一層推進

#### 【ETC2.0データの外部活用】

- ETC2.0高速バスロケーションシステム・車両運行管理システムの更なる利活用促進に向け、官民連携により検討を推進
- 多様な交通モードのデータや施設データ等との連携によるMaaSへの活用



#### 【ICT・AI技術を活用した交通マネジメント】

##### ＜背景/データ＞

- ・シンガポールやロンドン等では、都心部の渋滞解消のため、都心部への流入車両に課金を行い、交通需要を管理するロードプライシングを実施

- 観光地周辺で広域的に発生する渋滞を解消するため、ICT・AIなどの革新的技術を活用し、面的な料金施策を含む交通需要制御等のエリア観光渋滞対策の実験・実装を推進・支援
- ETC2.0等を活用した交通分析や課金の仕組み等の検討によりロードプライシング導入を目指す鎌倉市の取組を引き続き支援
- 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下におけるテレワーク等による渋滞解消箇所をビッグデータの活用により分析し、交通需要マネジメントによる渋滞解消の可能性を徹底追求



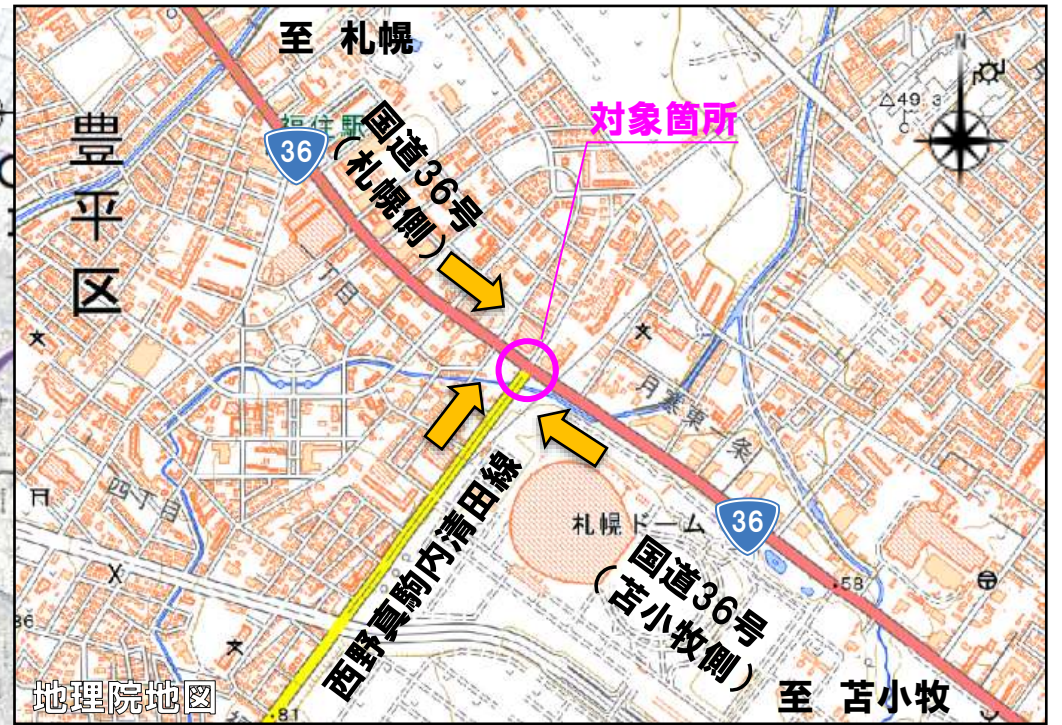


- 主要渋滞箇所について、コロナ前中(コロナ前:平成31年・令和元年、コロナ中:令和2年)の3月～5月(GW含む)の月別平均、3時間帯平均(7～9時、9～17時、17～19時)のうち最低値による旅行速度をモニタリング。
- No145札幌ドーム交差点は、コロナ中における旅行速度が20km/h以上に改善している状況。
- 今回のコロナ中の旅行速度の分析結果を踏まえ、ソフト対策等の短期的な対応や中長期的な対応、モニタリングを継続する等、引き続き渋滞対策の検討を進める。

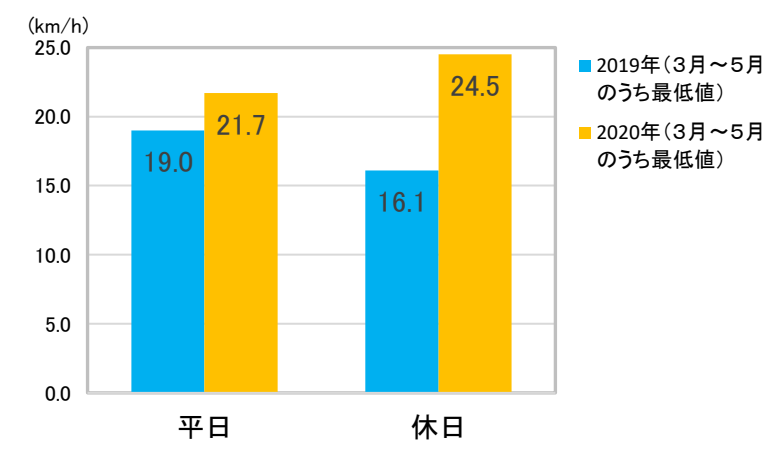
■位置図



No145 札幌ドーム交差点



■旅行速度の推移

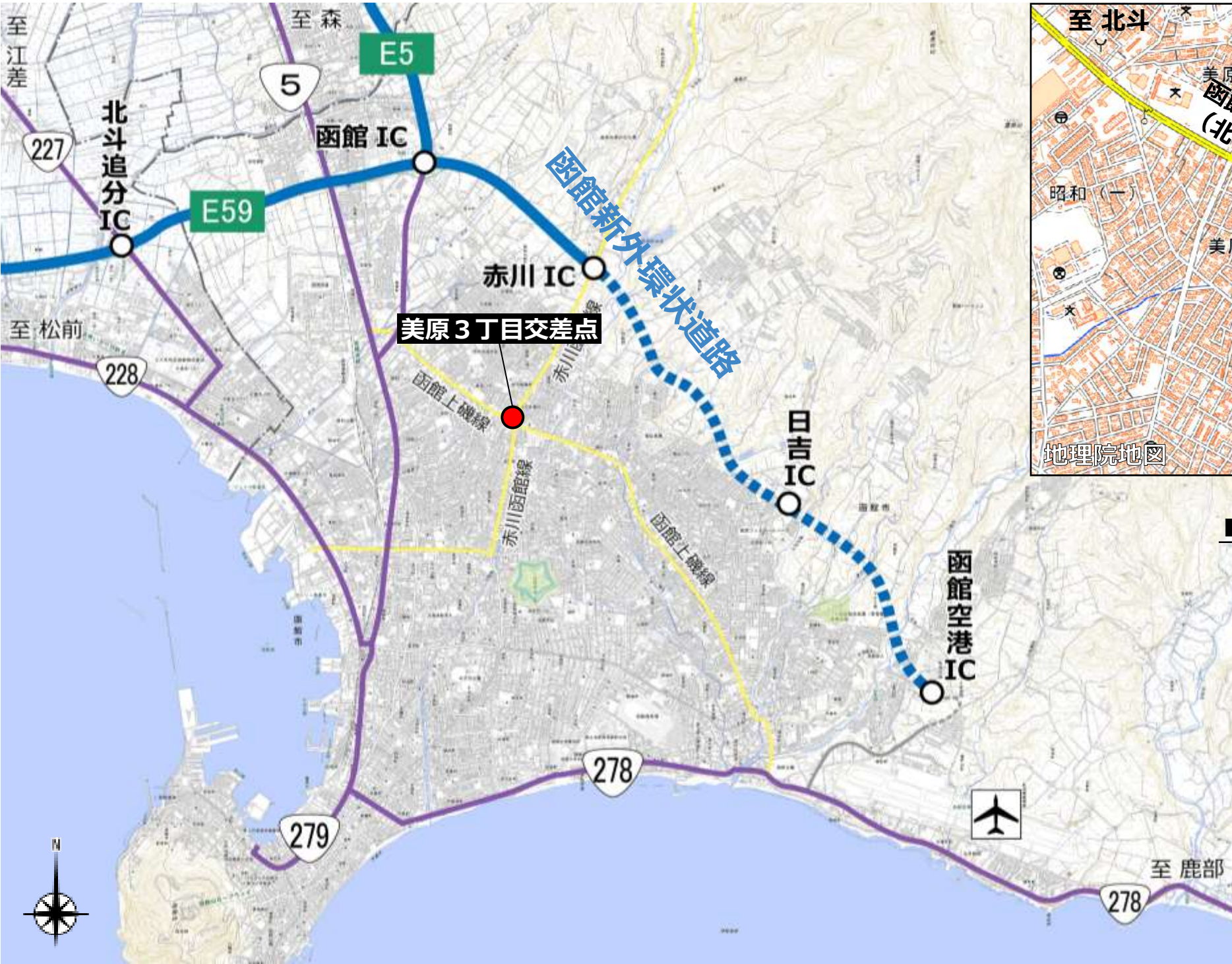


○新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下におけるテレワーク等による渋滞解消箇所をビッグデータの活用により分析し、交通需要マネジメントによる渋滞解消の可能性を徹底追求  
 令和3年度 道路関係 予算概算要求概要より一部(抜粋)

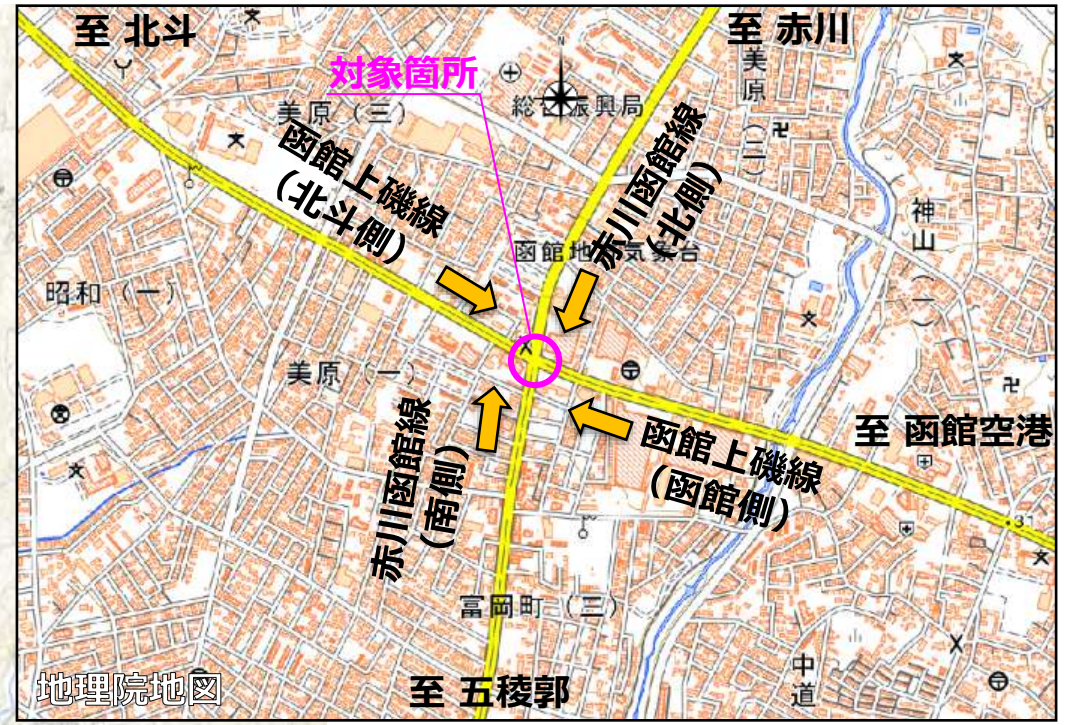


- 主要渋滞箇所について、コロナ前中(コロナ前:平成31年・令和元年、コロナ中:令和2年)の3月～5月(GW含む)の月別平均、3時間帯平均(7～9時、9～17時、17～19時)のうち最低値による旅行速度をモニタリング。
- No1205美原3丁目交差点、コロナ中における旅行速度が20km/h以上に改善している状況。
- 函館新外環状道路開通により広域交通が道道函館上磯線から函館新外環状道路に転換するが、早期に開通効果を高めるためにTDM施策を実施することに効果が期待出来るため、引き続き渋滞対策の検討を進める。

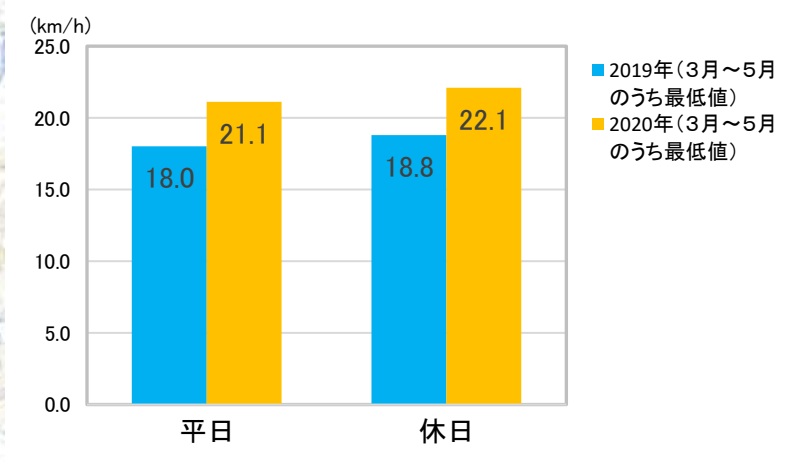
■位置図



No1205 美原3丁目交差点



■旅行速度の推移





## 9. 今後のスケジュール



- 基本方針(PDCA)に沿った主要渋滞箇所の対策内容等の議論の機会を増やすため、次年度も協議会を年2回開催する。
- 次回の各都市圏WGは、R3年6月頃の開催を予定している。
- また、次年度のR3第1回渋滞対策協議会は、R3年8月頃の開催を予定している。

